

# 鳴門教育大学大学院 ガイドブック 2025(令和7)年

Naruto University of Education  
Graduate School  
Guidebook

## 教師教育の トップランナーへ

### スマホ・携帯電話サイト

出願状況などの各種情報を  
スマートフォン・携帯電話で閲覧できます。  
<https://daigakuje.jp/naruto-u/>



### 問い合わせ先

- 入学試験・募集要項の請求について TEL(088)687-6131
- 授業・カリキュラム等について TEL(088)687-6692
- 免許・資格について TEL(088)687-6095
- 教育実習について TEL(088)687-6598
- 学生生活・課外活動・奨学金・授業料免除について TEL(088)687-6117
- 学生宿舎について TEL(088)687-6120
- 教員採用・就職支援等について TEL(088)687-6112
- 授業料等の納付について TEL(088)687-6060

写真協力/大塚国際美術館・鳴門市観光協会

国立大学法人  
鳴門教育大学

〒772-8502  
徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地  
<https://www.naruto-u.ac.jp/>



「教育の一番礼所」  
標語は、「教員養成は鳴門から、そして全国へ」という意を含め、  
本学としての使命と責任を明らかにするため、「教育の一番礼所」とした。





## CONTENTS

|                  |    |
|------------------|----|
| 学長からのメッセージ       | 02 |
| 創設の趣旨・目的, 求める学生像 | 04 |
| 教育組織             | 06 |
| 取得可能専修免許状        | 07 |
| 進学を希望する皆さんへ      | 08 |
| 教職大学院遠隔教育プログラム   | 13 |

### 修士課程

|           |    |
|-----------|----|
| 修士課程      | 14 |
| 資格取得プログラム | 15 |

### 人間教育専攻

|            |    |
|------------|----|
| 心理臨床コース    | 16 |
| グローバル教育コース | 18 |

### 専門職学位課程(教職大学院)

|             |    |
|-------------|----|
| 専門職学位課程     | 20 |
| 学校教員養成プログラム | 21 |

### 高度学校教育実践専攻

#### 教科・総合系

|                |    |
|----------------|----|
| 国語科教育コース       | 22 |
| 英語科教育コース       | 24 |
| 社会科教育コース       | 26 |
| 数学科教育コース       | 28 |
| 理科教育コース        | 30 |
| 技術・工業・情報科教育コース | 32 |
| 家庭科教育コース       | 34 |
| 音楽科教育コース       | 36 |
| 美術科教育コース       | 38 |
| 保健体育科教育コース     | 40 |
| 教育探究総合コース      | 42 |

#### 教職系

|                     |    |
|---------------------|----|
| 特別支援教育コース           | 44 |
| 幼児教育コース             | 46 |
| 学校づくりマネジメントコース      | 48 |
| 生徒指導コース             | 50 |
| 学習指導力・ICT教育実践力開発コース | 52 |
| 教員養成特別コース           | 54 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 鳴門教育大学大学院に期待するもの        | 56 |
| 附属学校, 教育実践教授            | 57 |
| 附属教育研究施設・国際交流           | 58 |
| 附属図書館, 連合大学院, 大学間連携協力協定 | 60 |
| 学生生活レポート                | 61 |
| 進路, 就職                  | 62 |
| ちょっと知りたいQ&A             | 64 |
| 都道府県別入学状況, INFORMATION  | 67 |
| 交通アクセス, 大学の周辺           | 68 |



# 教師は、教育を通して未来の 社会を創造していく仕事です。

## 鳴教大へようこそ

鳴門教育大学は、1981年に新構想の教育大学として設立されました。爾来、教職員が一体となって、時代に先んじる教師教育の創造と実践およびその基礎となる研究の推進に取り組んできました。本学のキャンパスは瀬戸内海国立公園に面した明媚な土地に位置しています。初代学長の前田嘉明は「環境は物言わぬ教師である」との考えから、キャンパスの整備に意を尽くしました。教育や教師の在り方を考え学び、充実した学生生活を送るに相応しい環境を鳴教は整えています。

## 充実した教育体制

本学の大学院(学校教育研究科)は、専門職学位課程(教職大学院)と修士課程の2つの課程で構成されています。

教職大学院では、学校の教育活動(教科指導、生徒指導等)および学校経営や地域との連携等についての専門的な学修と、教師としての実践的な指導力を修得することができる教育・研究体制を整えています。専門領域について深く学びたい、教師としての指導力を高めたい、いずれのニーズにも応えうる質の高い教育を行っています。

修士課程では、学校教育を支援する専門人材の育成を行っています。主に、心理専門職および心理学研究者ならびに日本型教育を活用した教育開発や国際協力を担う人材を育成しています。

## 多様な人々が学び合う キャンパス

本学には多様な背景、経験を有する学生が、全国からそして海外から集っています。教師としてさらなる資質力量の向上を図ろうとしている現職教員、教師になることを目指している学卒学生や社会人、母国の教育改善を担う留学生、心理専門職を目指している院生、研究者になることを目指している院生等々です。また、フルタイムの院生だけでなく、働きながら大学院で学んでいる学生(教職大学院遠隔教育プログラム)も所属しています。

皆さんを指導する大学教員も多様です。それぞれの専門領域で優れた業績を有する研究者だけでなく、学校教育や教育行政で豊かな経験と高い識見を有する実務家教員が多数所属しています。

教室では、経験の豊かな現職院生と学卒院生が互いに学び合う授業が展開されています。全国から集った院生同士の関係は、大学院修了後も幅広い情報の交流を可能にする貴重なネットワークとなります。

## これからの教育と教師、 そして鳴教

情報通信技術が急速に発達するとともに社会がグローバル化する中で、これからの教師や教育関係者は、これまで以上に多様な知識を身につける必要がありますが、鳴教では教師として「学ぶ力」を身につけることを重視したいと考えています。

教師の仕事は、標準化することが難しい仕事です。教師が身につけている考え方、

知識やスキルをもとに懸命に指導してみても、「わからない」、「できない」子どもが出てくることは当たり前のことでしょう。その時にこそ、教師の専門性が試される時なのです。「なぜこの子どもは分からないのだろうか?」、「なぜできないのだろうか?」。この事態に向き合い、子どもについての理解を深め、自己のスキル、知識あるいは考え方をとらえ直し、そして必要な知識やスキルを探究して、自らの考え方や知識を更新していく(自己変革していく)。そのことによって、分かる喜び、できる楽しさを子どもと共有することができるのだと思います。本学の、ある教員は、教師の仕事は「苦勞が報われる仕事である」と述べています。まさに子どもを育てるとともに、自己を育てて行くことが教師の仕事なのでしょう。だからこそ、教師は専門職業人として学び続けていかねばならないのです。

鳴教は、学び続ける教師を育て支援する大学です。

## 教育は未来を創る仕事

教育は、これからの社会を担っていく子どもを育てるという役割を担っています。教師は、教育を通して未来の社会を創造していく仕事です。一人ひとりの子どもがどのような人間として育っていくか、そしてこれからの社会や世界がどうなっていくか、教師は教育を通して深く関わっています。

鳴教の大学院は、皆さんの「なりたい」を叶える学びの場です。人間の成長に関わりその喜びを共有できる専門職業人となるため、鳴教で学んでみませんか。

学長  
佐古 秀一  
SAKO Hidekazu





## 創設の 趣旨・目的

教員には、教育者としての使命感と人間愛に支えられた豊かな教養、教育の理念と方法及び人間性に対する多面的な深い理解並びに教科・領域に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が強く求められている。

本学は、このような社会的要請に基づき、主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と、初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部をもち、学校教育に関する理論的、実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として昭和56年10月1日に創設された新しい構想の国立大学である。昭和59年4月に大学院(修士課程)の1期生を迎え、学校教育学部の1期生が入学したのは、昭和61年4月である。



## 求める 学生像

### 【修士課程】

#### 【求める学生像】

学校教育研究科修士課程においては、多様化する教育課題の解決・改善に関して、広い視野から専門的な知見に基づき支援できる人材及び日本型教育システムを学び開発途上国の教育改善を支援する人材を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、教育課題の解決・改善に向けて、学校・地域(国際社会を含む)・家庭と連携・協働しながら主体的・創造的に取り組んでいこうとする意欲と、高度な専門的知識を探究する高度な研究能力と、その成果を社会に還元するとともに具体的な課題解決に結びつけていこうとする社会的実践力をもった、学校・地域の教育力の向上及び開発途上国の教育改善に積極的に関わる専門家になることを志向する者を基本に選抜します。

#### 【入学者選抜の基本方針】

選抜者の判定は、各コース・分野・領域ごとに、筆記試験又は小論文、及び口述試験の成績の高得点者から行うことを原則とします。特に、志望するコース・分野・領域の専門的知識、研究テーマに関する基礎的知識及び専門職業人としての意欲・適性について審査します。

### 【専門職学位課程(教職大学院)】

#### 【求める学生像】

学校教育研究科専門職学位課程(教職大学院)においては、高度専門職業人として有すべき資質能力(教育実践力、自己教育力及び教職協働力)を備え、幅広い教育課題に対応したり、新しい教科実践の在り方を創造する教員を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、

1. これまでの教職経験を基盤にして、校内及び県内外の教科指導の中核的な役割を担うことを志向し、高度な実践力を修得しようとする現職教員(小・中・高等学校の教科指導をリードする教員及び指導主事の養成につながる現職教員)
2. これまでの教職経験を基盤にして、校内及び県内外において、学校教育を俯瞰的に指導できる中核的な役割を担うことを志向し、高度な実践力を修得しようとする現職教員(学校園管理職、生徒指導、校内研修等をリードする教員及び指導主事、特別支援教育をリードする教員及び指導主事の養成につながる現職教員)
3. 学部段階で培われた教科に関する専門性を基盤にして、教科指導における高い指導性を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者(主として、中・高等学校で活躍する教員の養成につながる者)
4. 学部段階で培われた資質能力を基盤にして、教職に意欲的に取り組む態度、幅広い実践力を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者(幼稚園、小学校、特別支援学校等で活躍する教員の養成につながる者)

を基本に選抜します。

#### 【入学者選抜の基本方針】

選抜者の判定は、各コース・分野ごとに、筆記試験若しくは実技試験、又は小論文、及び口述試験の成績の高得点者から行うことを原則とします。特に志望するコース・分野の専門的知識、スキル、実践研究課題等に関する基礎的知識及び教員としての意欲・適性について審査します。



# 鳴門教育大学大学院の教育組織

## 大学院学校教育研究科

### 修士課程

| 専攻     | コース        | 分野等  | 募集人数 | 資格取得プログラム(3年)                                      | 取得学位    |
|--------|------------|--|------|--|---------|
| 人間教育専攻 | 心理臨床コース    | 臨床心理学領域<br>心理・教育科学領域   | 60   | 資格取得プログラム(3年)<br>※心理臨床コース<br>臨床心理学領域を除く<br>詳細はP.15 | 修士(教育学) |
|        | グローバル教育コース | 日本語教育・日本文化分野<br>国際教育協力分野<br>英語コミュニケーション・異文化理解分野<br>国際理数科教育分野 | 60   |  |         |

### 専門職学位課程(教職大学院)

| 専攻/系       | コース                         | 分野等  | 募集人数 | 学校教員養成プログラム(3年)                                    | 教職大学院遠隔教育プログラム(2~5年) | 取得学位      |
|------------|-----------------------------|--|------|--|----------------------|-----------|
| 高度学校教育実践専攻 | 国語科教育コース                    |  | 12   | 学校教員養成プログラム(3年)(幼小・中・特別支援いずれかの教員免許取得可能)<br>詳細はP.21 | ○                    | 教職修士(専門職) |
|            | 英語科教育コース                    |  | 12   |  | ○                    |           |
|            | 社会科教育コース                    |  | 17   |  | ○                    |           |
|            | 数学科教育コース                    |  | 12   |  | ○                    |           |
|            | 理科教育コース                     |  | 12   |  | ○                    |           |
|            | 技術・工業・情報科教育コース              |  | 12   |  | ○                    |           |
|            | 家庭科教育コース                    |  | 5    |  | ○                    |           |
|            | 音楽科教育コース                    |  | 5    |  | ○                    |           |
|            | 美術科教育コース                    |  | 5    |  | ○                    |           |
|            | 保健体育科教育コース                  |  | 8    |  | ○                    |           |
|            | 教育探究総合コース                   |  | 8    |  | ○                    |           |
|            | 特別支援教育コース                   | 通常の学校における特別支援分野<br>特別支援学校分野                              | 10   |  | ○                    |           |
|            | 幼児教育コース                     |  | 10   |  | ○                    |           |
| 教職系        | 学校づくり<br>マネジメントコース          | 学校リーダー養成分野<br>ミドルリーダー養成分野<br>カリキュラム・マネジメント分野<br>地域学校協働分野 | 14   | ○  |                      |           |
|            | 生徒指導コース                     | 生徒指導・学級経営分野<br>道徳教育分野                                    | 12   | ○  |                      |           |
|            | 学習指導力・<br>ICT教育実践力<br>開発コース | カリキュラム開発分野<br>教育評価開発分野<br>アクティブラーニング開発分野<br>授業開発分野       | 11   | ○  |                      |           |
|            | 教員養成特別コース                   |  | 15   | ○  |                      |           |

# 取得可能専修免許状

本学大学院で単位を修得することにより授与資格を得ることができる専修免許状は次のとおりです。ただし、専修免許状を取得するためには、対応する1種免許状を有している必要があります。

| 専攻等        | 教育職員免許状の種類  |
|------------|---|
| 人間教育専攻     | 幼稚園教諭専修免許状<br>小学校教諭専修免許状<br>中学校教諭専修免許状<br>(国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教)                         |
| 高度学校教育実践専攻 | 高等学校教諭専修免許状<br>(国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 看護, 家庭, 情報, 農業, 工業, 商業, 水産, 福祉, 商船, 職業指導, 英語, ドイツ語, フランス語, 宗教)<br>養護教諭専修免許状 |
|            | 特別支援学校教諭専修免許状<br>(知的障害者に関する教育の領域, 肢体不自由者に関する教育の領域, 病弱者に関する教育の領域)  |
|            | 特別支援教育コース(注2)   |

(注1) 上記の表は、所定の単位を修得することにより取得できる専修免許状の種類です。修了要件を満たすことにより所定の単位修得が可能な場合と、履修方法や各コースのカリキュラムによっては修了要件以外の単位修得が必要な場合があります。(修了要件以外の単位修得については、授業時間割の制約によって、所定科目の履修機会を保障できるとは限りません。)

(注2) 特別支援教育コースについては、修了要件以外の単位修得により特別支援学校教諭専修免許状以外の専修免許状を取得することが可能です。(修了要件以外の単位修得については、授業時間割の制約によって、所定科目の履修機会を保障できるとは限りません。)



# もう一度教師になる夢を、 もう一度叶えたい。



一度、一般企業に就職しましたが、小さい頃からの「小学校の先生になりたい」という夢を叶えるため、鳴門教育大学大学院に入学しました。

本学を選んだ理由は、3年間で教員免許状が取得出来る「学校教員養成プログラム」があったから。はじめは板書の仕方やタブレットを使った授業の方法など分からないことが多かったのですが、長期履修学生支援センターの先生方がとても丁寧に指導してくださいました。

詳しくはこちら▶



高度学校教育実践専攻  
教職実践高度化系 教員養成特別コース  
中南 香菜さん  
徳島県小学校 教諭  
2021(令和3)年度入学

## 大学卒業見込み・社会人の方へ

出願可能 修士課程 専門職学位課程

- 修 専** 教科・総合や教職に係る専門性・実践力を高めることができます。  
・教職大学院で、教職のみならず、多様な領域の専門教育を受けることができます。  
・教科・総合系、教職系の垣根を越えた柔軟なカリキュラム編成により、教科・総合や教職に係わる専門性と実践的指導力の双方を高めることができます。
- 修 専** 実習を中心としたカリキュラムで、教職実践力を育成します。
- 修 専** 多数在学する現職教員と授業の内外で意見交流ができ、学び合うことができます。
- 修 専** 学校教員、心理職、国際教育協力の専門家などの専門職業人を目指す仲間とともに学びます。
- 修 専** 大学(学部)で取得した教員免許状とは異なる教科、または異なる校種の免許状を取得することもできます。

# 仲間とともに、 心理カウンセラーを 目指したい。

詳しくはこちら▶



本学を選んだ理由は学生数が多いこと、先生方からしっかりとサポートが受けられると感じたから。同期や先輩から学ぶことが多く、お互い助け合いながら勉学に励んでいます。同じ志を持つ者同士、切磋琢磨しながら学びを深めています。先生方は授業内容や研究の疑問について、とても丁寧に対応していただけます。

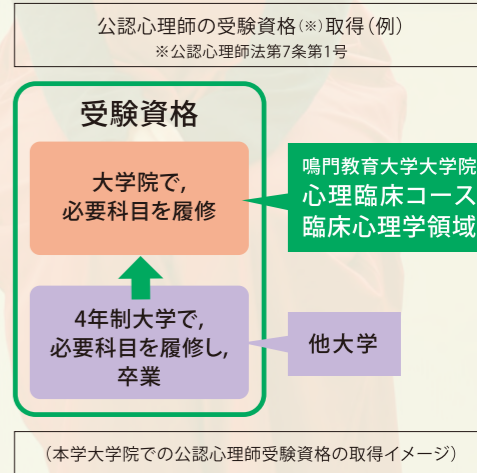
人間教育専攻  
心理臨床コース 臨床心理学領域  
石井 似奈さん  
香川大学医学部臨床心理学出身  
2023(令和5)年度入学

## 公認心理師・臨床心理士の受験資格を取得したい方へ

出願可能 修士課程

(心理臨床コース臨床心理学領域に限る)

- 修 専** 公認心理師と臨床心理士、両方の受験資格を得ることができます。  
・公認心理師試験を受験するためには、入学前に他大学学部において、必要な単位を修得しておく必要があります。
- 修 専** 教育相談力を高めたい現職教員にも適したカリキュラムを編成しています。
- 修 専** 関係諸機関との連携による学外施設実習も充実しています。



詳しくはこちら▶



人間教育専攻  
グローバル教育コース  
日本語教育・日本文化分野  
王 拓涵さん  
2023(令和5)年度入学

# 教育で、世界を より良くしたい。

グローバル教育コースでは、異文化コミュニケーション能力や教育スキルを向上させることができます。「教育」には世界を変える力があると信じています。将来、貧困の子どもたちの「教育」のために、これから学問や研究に専念していきたいです。「知行合一」をモットーに掲げ、この世界をより良いものに変えたいというのが私の夢です。

## 私費外国人留学生特別選抜を受験する方へ

出願可能 修士課程

- 修 専** 日本語教師になりたい、日本で学位を取得したい学生が集まっています。  
法務省告示基準第1条第1項第13号口に定める日本語教員の要件の単位修得が可能です。
- 修 専** 出身国の教育改善に資する専門教育や、日本型教育システムについて学ぶことができます。



# 生徒指導について、 深く学びたい。



「子どもと関わる上で、大切にしたい生徒指導観は何か。」という問いが進学のも動機です。“人とのつながり”を大切にしている生徒指導コースでは、不登校やいじめなどに絡む多様な関係性に着目しながら、その理解や対応における理論や実践を学ぶことができます。出身や年代、校種も様々な院生とともに学び、“人とのつながり”を感じながら様々な生徒指導観に触れ、学びを深めています。

詳しくはこちら▶



高度学校教育実践専攻 教職系  
生徒指導コース  
真鍋 博光さん  
愛媛県小学校 教諭  
2022(令和4)年度入学

## 現職教員の方へ

出願可能

修士課程

専門職学位課程

### 修 専 教科・総合や教職に係る専門性・実践力を高めることができます。

- ・教職大学院で、教職のみならず、多様な領域の専門教育を受けることができます。
- ・教科・総合系、教職系の垣根を越えた柔軟なカリキュラム編成により、教科・総合や教職に係る専門性と実践的指導力の双方を高めることができます。

### 修 専 全国から高い志を有する現職教員が集い、共に学んでいます。

- ・新構想の大学として設置された鳴門教育大学大学院には、全国から教育に対する高い志を持った現職教員が入学しています。
- ・自県の教育事情だけでなく、他県の学校の様子や先進的な実践事例などを授業内外で日常的に交流し、共有できます。

### 修 専 勤務地を離れることなく、働きながら学ぶ、遠隔教育プログラムもあります。

- ・遠隔システムを使って、通学生と同じような内容の授業を履修できます。
- ・長期履修学生制度や実習免除制度を活用し、履修や経済面で余裕をもって学べます。(詳しくはP.13)

働きながら学ぶ  
教職大学院  
遠隔教育プログラム



管理職となった現在、園の教育課題の見直しに着手しながら後進を育てています。教職大学院遠隔教育プログラムは今の生活スタイルを崩すことなく学べ、“遠隔”であっても垣根が低くともアットホーム。自分自身のセカンドキャリアを見据え、集大成としての学びとして研究を深めていき未来の幼児教育を創る一端になりたいと考えています。

高度学校教育実践専攻 教職系  
幼児教育コース  
宮井 智子さん  
千葉県私立幼稚園 主任  
2023(令和5)年度入学



今まで現場で積み重ねてきた実践を自分の中で整理し、理論や根拠と融合させ、より確かなものに進化させていきたいと考え、「教職大学院遠隔教育プログラム」での学びを選択しました。私は現在、海外の在外教育施設で勤務をしています。時差もありますが、共に学ぶ同志の存在や、教員の親身なサポートにより、無事に学修を続けられています。

高度学校教育実践専攻 教職系  
学校づくりマネジメントコース  
若竹 光司さん  
在外教育施設 教諭  
2023(令和5)年度入学

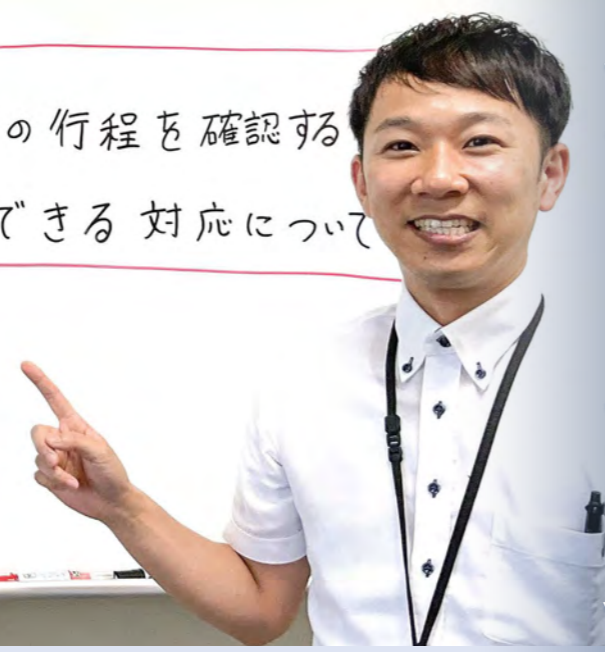
# 広がっている学びの場！



- コミュニケーションタイム
- 説明を聞く 前回の続きへ
- ワークシートをする
- 振り返り

今日の目標

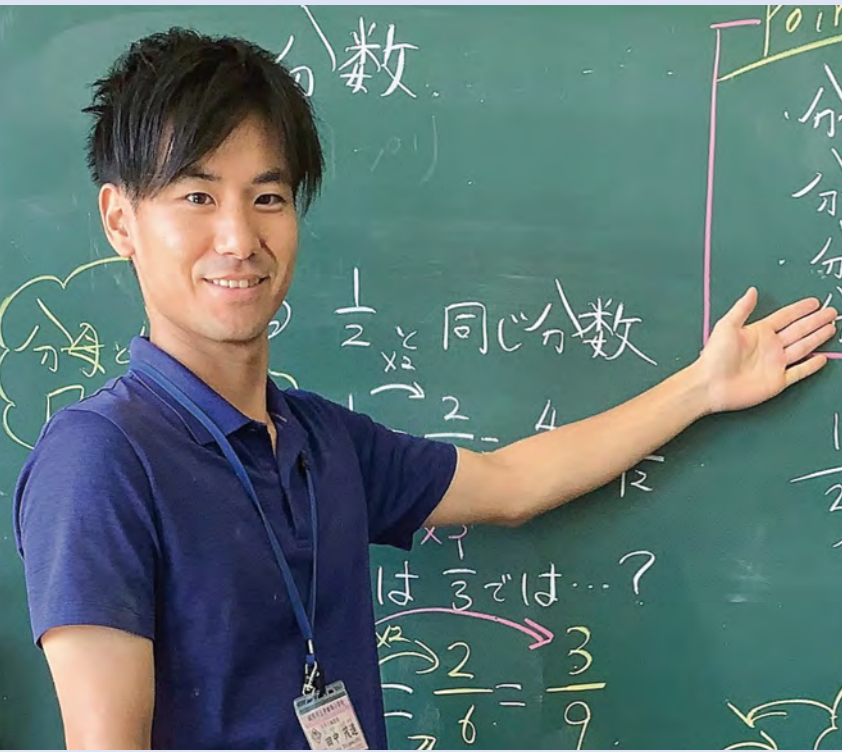
- 修学旅行の行程を確認する
- 自分ができる対応について



理論と実践をタイムリリーに往還!

高等学校での生徒指導や特別支援教育について、より理解を深めたいと考え、「教職大学院遠隔教育プログラム」を受講しました。入学して2年目になり、専門科目、ゼミ、スクーリングを中心に受講しています。ゼミを受ける機会が増えますが、指導助言されたことを即座に現場で実践できることが「教職大学院遠隔教育プログラム」の利点です。

高度学校教育実践専攻 教職系  
生徒指導コース  
下村 康剛さん  
広島県公立高等学校 教諭  
2022(令和4)年度入学



「子どもたちが豊かに学ぶICTを活用した授業ができるようになりたい」という思いが強くなり、大学院への入学を決意しました。その様な時に、休職することなく働きながら学べる「教職大学院遠隔教育プログラム」に出会ったのです。大学院で学んだ理論や考えをすぐ目の前の子どもたちに活かせる今の環境は、自らの成長のためにこの上ないものであると実感しています。

高度学校教育実践専攻 教職系  
学習指導力・ICT教育実践力開発コース  
田中 茂道さん  
京都府公立小学校 教諭  
2023(令和5)年度入学

教職大学院遠隔教育プログラムに関する詳しい情報はこちらから



働きながら学ぶ  
教職大学院遠隔教育プログラム



- ★このプログラムは出願時に申請が必要です。
- ★このプログラムでは、勤務校の校園長の同意を得て、働きながら学ぶことができます。教育委員会の派遣による大学院修学については、従来どおり、各コースで2か年の課程として受け入れます。

現職教員が学びやすいしくみ

- 1 勤務地を離れず、大学院で学ぶことができます**  
教職大学院遠隔教育プログラムでは、現職教員が働きながら修学できるよう、夜間や休日、夏期休業中等に授業を開講します。在籍校で勤務しながら、単位修得、課題研究の指導を受けることとなります。
- 2 教職修士(専門職)の学位を取得できます**  
教職大学院遠隔教育プログラムでは、教職修士(専門職)の学位を取得することができます。また、取得している1種免許状を専修免許状に上進することができます。(一部、修了要件以外の単位を取り足す必要がある場合があります。詳しくは、教務課にお問い合わせください。) ※特別支援学校教諭、栄養教諭は上進不可
- 3 自分のペースで柔軟に学ぶことができます**  
大学院の標準修業年限は2年ですが、教職大学院遠隔教育プログラムでは、現職教員が働きながら無理なく学ぶことができるよう、3～5年の修業年限を選択できる長期履修学生制度を導入しています。
- 4 「実習科目」を免除する制度があります**  
現職教員として3年以上の勤務経験があれば、入学後に、教育実践等の実務経験や教育研究活動の実績等について審査し、「実習科目」を最大で10単位まで免除することが可能です。免除された実習単位は、修了要件の単位として認められます。
- 5 2年分の授業料で最長5年間学ぶことができます**  
修了までの授業料は、3～5年の修業年限を選択した場合でも2年分となります。この場合、1年間の授業料は、2年分の授業料を修業年限(3～5年)で割った額となります。(留年の場合を除く。)

履修に向けた推奨環境

リアルタイム授業では教員や学生間でディスカッションを行いますので、事前にマイクやカメラをご用意いただくとスムーズな参加が可能です。

また、通信環境として光ファイバー網等の有線LAN環境もご用意いただくと、通信の混線や電波の干渉による遅延を回避できる可能性があります。



遠隔教育プログラム  
アドバイザー  
**向井和博**



遠隔教育プログラム  
アドバイザー  
**富山美智代**

2名のアドバイザーが在籍し、皆さんの学修上の支援を行います。

教職大学院遠隔教育プログラムに関する詳しい情報はこちらから





# 修士課程

取得学位 修士(教育学)

## 目的と特長

修士課程では、多様化する学校現場の教育課題の解決・改善に関して、専門的な立場から支援できる人材を育成することを目的としています。

より多様化する現代社会で教育を支える専門家としての力を磨きましょう。

## 公認心理師と臨床心理士の受験資格が取得できる。▶ P.16~P.17 心理臨床コース

心理臨床コース臨床心理学領域に必要な単位を修得すれば、新しく誕生した国家資格である公認心理師と、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”として長く活躍している臨床心理士の両方の受験資格を得ることができます。本学では、多くの仲間たちと学び合い、多様な専門性をもつ教員のもとで臨床心理学を学ぶことで、実践力のある心の専門家としての基礎を育てます。



※詳しくは日本心理研修センターホームページ  
<https://www.jccpp.or.jp/Top.cgi> をご覧ください。



## 世界から学び、世界とともに考え、世界で教えよう。▶ P.18~P.19 グローバル教育コース

### 国際教育協力を実現する

専門家やボランティアとして国際教育協力に参画する人材の育成を目指し、教育プロジェクトマネジメントに関する演習、実例研究、国際的な援助動向の分析などを行います。また、語学実習や現地演習などを通して、国際教育協力に必要な実践的指導力と調整力を身につけた人材の育成を目指します。

修了生は、学校教員の他、JICAの企画調査員、開発コンサルタント、シニアボランティア、国際公務員など様々な現場で活躍しています。



### 日本語を学ぶすべての学習者のために

海外で「外国語としての日本語」を学んでいる学習者、日本国内で「第二言語としての日本語」を学んでいる学習者など、日本語学習者には様々なケースがあり、学ぶ理由も学ぶ内容も様々です。

グローバル教育コースの日本語教育・日本文化分野では、多様な日本語教育に対応できる人材の育成を目指し、日本語および日本文化の特質、それらの教授・学習の方法、カリキュラム開発などを研究しています。



# 学部+大学院の 3年で 免許状を取得。



## 資格取得プログラム

### 《 修士課程 》

◎このプログラムは出願時に申請が必要です。  
 (心理臨床コース臨床心理学領域は対象外です。)

**特徴 1** 3年間で学部及び大学院(修士課程)の授業科目を履修して教員免許状を取得

**特徴 2** 教育実践力を身につける体系的な教育実習を実施

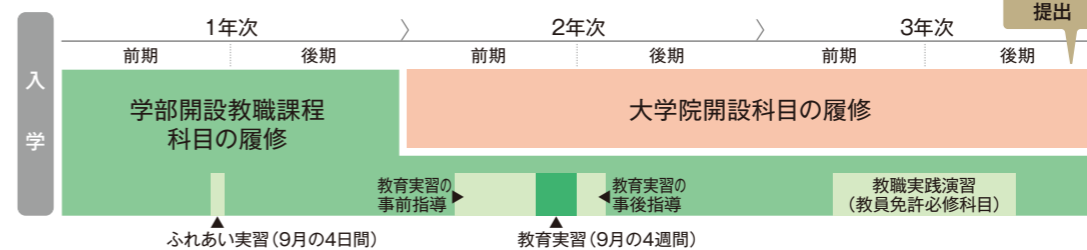
**特徴 3** 経済的な授業料  
 2年分の授業料を3年間で分割納入していただくことになります。

標準修業年限(2年)+1年  
 大学院に3年間在学

学位:修士(教育学)

1種免許状  
 又は  
 専修免許状

【 学びのスケジュール 】



希望する教員免許状取得に必要な学部の授業科目を履修

大学院の教育課程を履修

いずれかの1種免許状又は専修免許状が取得できます。

※専修免許状の取得には当該種別(教科)の1種免許状を取得し、かつ、専修免許状の取得に必要な大学院授業科目の単位を修得している必要があります。

\*本プログラムを申請された方で、高等学校教諭免許状の取得を希望する場合は、入学後に教務課へ相談してください。

注)本プログラムでは、特別支援学校教諭免許状は取得できません。

幼稚園教諭  
1種免許状

小学校教諭  
1種免許状

中学校教諭  
(高等学校教諭)  
1種免許状\*



◇資格取得プログラムに関する問い合わせ先◇  
 教務部教務課 TEL.088-687-6692



学校や地域・家庭と連携して教育現場の課題解決に活かせる専門的知識を身につけよう!



# 心理臨床コース

分野等 ●臨床心理学領域 ●心理・教育科学領域

コース HP



## 科学と実践を架橋し、理論と応用を往還する

心理臨床コースは、児童生徒だけでなく、乳幼児から高齢者までのすべてのライフステージの方が抱える生活上の諸問題について、臨床心理学と心理・教育科学の視点からの支援を考えます。本コースには、臨床心理学領域と心理・教育科学領域という2つの領域があります。それぞれの領域では、専門的知識と実践方法を学ぶことを通じて、現代社会における諸課題について様々な側面からアプローチします。2つの領域は、それぞれ入試方法や指導体制が異なります。

### 「二兎を追って二兎を得る」公認心理師と臨床心理士に必要な実践力の獲得

臨床心理学領域では、カウンセリング・心理療法に関する専門的知識と技術を通して、個人個人の心の問題・課題に対応する

とともに、社会の中での一人ひとりの個性豊かな人間の成長を支援する高度な実践的力量を有する心理職(公認心理師・臨床心理士)の養成を行います。また、現職教員で臨床心理学を実践的に学び、教育相談の力量を高めたい方にも適しています。

臨床心理学の専門家は、心理学の知見に基づいた実践活動を行い、実践活動によって生じた課題を科学コミュニティに還元することが必要です。臨床心理学領域では、修士学位論文の執筆を通して心理学的知見を実践現場に供給し、ケースレポートの執筆によって実践活動で課題を明確にするプロセスを学ぶことができます。

### 不登校もいじめも解決し、ストレスフリーで自尊感情豊かな子どもの育成を目指す

心理・教育科学領域では、ストレス、暴力

(いじめ含む)、無気力や抑うつ、低い自己肯定感、低い共感性や道徳性など、心理的な問題に「心理学」から迫ります。問題の原因を推測する研究と、学校教育や日常生活上の心理的な問題について予防教育プログラムの開発と実践を行います。

本領域の基盤となる学問は、「心理学」と「教育科学」です。心理学ではゼロから専門性の高みまで教育と研究を発展させます。人のこころの複雑さと興味深さの醍醐味に触れてみませんか。教育科学では、学校教育に科学の息吹を吹き込み、科学的根拠ある教育へと学校教育を変貌させます。誰もが願う教育のあるべき姿を実現させませんか。現職教員等で学校教育力を高めたい方、カウンセラー、学校教員志望の方、資格取得プログラムを利用して教員資格を取りたい方、留学生、博士課程進学希望者に適した領域になります。また希望者は、予防教育の実施支援を行う「予防教育コーディネーター」資格を取得できます。

担当教員紹介 (2024年4月1日現在)

### 臨床心理学領域



教授 今田雄三 IMADA Yuzo

専門分野: 精神医学, 臨床心理学  
研究内容: 描画療法, コラージュ療法に関する研究など  
授業科目: 保健医療分野に関する理論と支援の展開(精神医学特論)教育分野に関する理論と支援の展開(教育心理学特論)など



教授 小倉正義 OGURA Masayoshi [兼任教員]

専門分野: 発達臨床心理学  
研究内容: 発達障がい児者への心理教育, 発達障がい児者やその家族のメンタルヘルスと支援, 学校・家庭・地域の連携, 思春期・青年期のメンタルヘルスなど  
授業科目: 心理実践実習, 子どものこころへのアプローチなど



教授 葛西真記子 KASAI Makiko

専門分野: 臨床心理学, ジェンダー&セクシュアリティ  
研究内容: ジェンダーやセクシュアリティに関する臨床実践, 自己心理学の事例研究  
授業科目: 臨床心理学II, 臨床心理学演習, 臨床心理学実習など



教授 久米禎子 KUME Teiko

専門分野: 臨床心理学, 深層心理学  
研究内容: 箱庭療法, 遊戯療法, 他職種との協働(臨床心理学的地域援助)など  
授業科目: 臨床心理学研究I, 心理支援に関する理論と実践など



教授 吉井健治 YOSHII Kenji

専門分野: 臨床心理学  
研究内容: 不登校, スクールカウンセリング, 訪問臨床, 自己心理学  
授業科目: 臨床心理面接研究I, 心の健康教育に関する理論と実践など



准教授 川西智也 KAWANISHI Tomoya

専門分野: 老年臨床心理学, 地域臨床心理学  
研究内容: 認知症の人とその家族への心理支援, 高齢者の犯罪や「迷惑行為」  
授業科目: 福祉分野に関する理論と支援の展開, 臨床心理査定演習IIなど



准教授 坂東伸泰 BANDO Nobuyasu

専門分野: 児童青年精神医学, 臨床心理学  
研究内容: 精神障がいを持つ子や親への育児支援, ペアレントトレーニング, 心理学・小児科領域・精神科領域を統合した臨床実践など  
授業科目: 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践, 臨床心理面接研究II, 臨床心理査定演習Iなど



准教授 廣瀬雄一 HIIROSE Yuichi

専門分野: 臨床心理学, 教育心理学, ナラティブ・アプローチ  
研究内容: 心理療法, 不登校・ひきこもり支援, 復職支援, 森田療法など  
授業科目: 臨床心理査定演習I, 臨床心理面接演習, 福祉分野に関する理論と支援の展開など



准教授 古川洋和 FURUKAWA Hirokazu

専門分野: 臨床心理学(行動療法, 認知行動療法), 行動医学  
研究内容: うつ病・不安症の改善に資する心理学的プロセス変数の特定, 認知行動療法の実践家養成  
授業科目: 臨床心理学統計法, 保健医療分野に関する理論と支援の展開など

### 心理・教育科学領域

担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



特命教授 山崎勝之 YAMASAKI Katsuyuki

専門分野: 発達健康心理学  
研究内容: 健康と適応に影響する個人特性(パーソナリティ, 感情, 行動, 認知など)について, 因果関係明確ならびに健全化への介入プログラムの開発・効果評価  
授業科目: 心の発達・教育創造研究, 心理教育科学測定・評価演習, 予防教育開発・実施演習など



准教授 内田香奈子 UCHIDA Kanako

専門分野: 教育心理学, 学校心理学  
研究内容: 感情教育, ストレス・コーピング, 予防教育プログラムの開発と効果検証など  
授業科目: 心理教育科学研究, 予防教育開発・実施演習, 心理教育科学演習など



准教授 内山有美 UCHIYAMA Yumi

専門分野: 発達心理学, 教育心理学  
研究内容: 向社会性や適応的な対人行動における, 育成・獲得プログラムの開発と効果検証  
授業科目: 心理・教育科学測定・評価演習, 心の発達・教育創造研究, 心理教育科学演習など

※障害科学領域については、高橋眞琴教授が担当していますが、組織改編のため令和6年度入試からは募集は行っていません。



# グローバル教育コース

コースHP



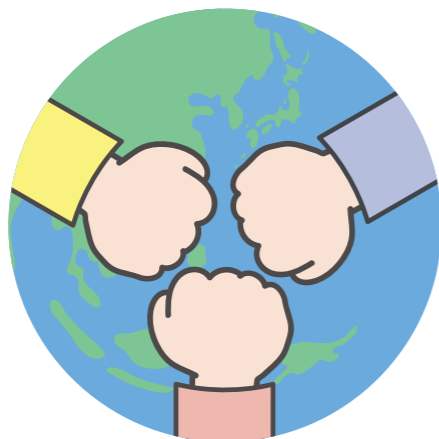
分野等 ●日本語教育・日本文化分野 ●国際教育協力分野 ●英語コミュニケーション・異文化理解分野 ●国際理数科教育分野



## 世界から学び、世界とともに考え、世界で教えよう

### 「途上国の教育への支援」に携わる

本学は、アフリカ、大洋州、アジア、中南米などの地域・各国の教育関係者を対象とした国際協力機構(JICA)の研修の受け入れや短期専門家としての現地業務を通して、これまで多様な国際教育協力の経験を蓄積しています。本コースの学生たちは、JICAの留学生たちと一緒に英語で学んだり、JICA研修にも直接参加し、様々な教育関係者と交流しています。現地に専門家として教員が派遣される際に学生も同行することができ、学内・学外での国際教育協力で縦横無尽に参画できることがコースの魅力となっています。(国際教育協力分野・国際理数科教育分野)



### 「日本語学習者の力になるために必要なことは何か」を知る

日本語を外国語として、あるいは第二言語として学んでいる学習者はたくさんいます。日本語学習者の母語、年齢、環境、目的などは様々で、求められる日本語教育・支援のあり方も多岐に渡っています。私たちは、日々、様々

### 「国内の教育の国際化」を考える

グローバル化に伴い、教育課題や教育内容も多様化をたどっています。学校現場や子どもたちを取り巻く地域・家庭も、ますます異文化への理解、外国語能力などが問われるようになっており、国際理解教育・言語教育の重要性が増しています。本コースでは、外国語運用能力はもとよりコミュニケーション能力と文化理解力を兼ね備えた専門家になることを目指し、多様なプレゼンテーションおよびライティングのスキルを駆使できる外国語コミュニケーション能力を身につけること、さらに異文化理解を推進し、実践できる人材を養成します。(英語コミュニケーション・異文化理解分野)

な角度から日本語・日本文化の特質を追究し、それらの教授・学習の方法を検討することで、多様化する日本語学習者のニーズに応えられる人材を育成することを目指しています。(日本語教育・日本文化分野)

担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 石坂広樹 ISHIZAKA Hiroki

専門分野：国際教育協力、教育政策、数学教育、国際理解教育、教育行政  
研究内容：授業研究の国際的な展開、住民参加型の学校運営、算数分野における国際協力活動  
授業科目：教育研究・調査、国際教育協力研究、国際教育協力演習など



教授 石村雅雄 ISHIMURA Masao

専門分野：比較教育学(ベトナム、フランス、フランス語圏アフリカ諸国)、教育政策、教育行政学、学校経営、教師教育、高等教育  
研究内容：市民教育の現実的あり方(社会主義圏、発展途上国)  
授業科目：教育制度論、国際教育協力特論I、国際教育人論、教育法規実践演習、日本型学校教育課程の特徴と展開など



教授 小澤大成 OZAWA Hiroaki

専門分野：教育開発、理科教育、地質学  
研究内容：授業研究の導入と受容、理科カリキュラム改革と実践の関連など  
授業科目：国際教育協力特論II、国際教育授業開発、国際教育演習



教授 武田清 TAKEDA Kiyoshi

専門分野：物理化学、化学物理、理科教育  
研究内容：低温液体の物理化学、電池の化学  
授業科目：国際教育理科内容論、理科教育協力授業開発研究、理科教育協力教材開発研究



教授 田中大輝 TANAKA Daiki

専門分野：言語学、日本語学、日本語教育学  
研究内容：日本語基本動詞のデータベース作成、レキシコンと用例からなる語彙知識理論の検証など  
授業科目：日本語文法研究、日本語音声表現研究、日本語語彙論、日本語I、日本語IIなど



准教授 岡崎 渉 OKAZAKI Wataru

専門分野：日本語教育学、社会言語学(談話分析等)  
研究内容：日本語学習者による社会語用能力の発達、年少者日本語教育およびその教員養成  
授業科目：日本語教育法研究、日本語教育法演習、日本文化研究、日本語II、日本事情・日本文化など



准教授 鎌田スザン KAMATA Suzanne

専門分野：Global Education  
研究内容：Literature in Language Teaching, Writing, English Communication  
授業科目：ライティング・スキルI、ライティング・スキルII



准教授 日下智志 KUSAKA Satoshi

専門分野：算数・数学教育、国際教育開発  
研究内容：算数・数学教育のカリキュラム、算数・数学の問題解決過程におけるメタ認知、国際教育協力など  
授業科目：国際教育数学内容論、数学教育協力研究、日本型学校教育課程の特徴と展開など



准教授 工藤慎一 KUDO Shinichi

専門分野：行動生態学、進化生態学  
研究内容：節足動物における親の投資の多様化、特に親による子の保護の進化に関する研究  
授業科目：自然科学の世界



准教授 Gerard Marchesseau ジェラール・マーシェソ

専門分野：Communicative Language Teaching  
研究内容：Motivation, Content-based language teaching  
授業科目：プレゼンテーション・スキルI、プレゼンテーション・スキルII、言語コミュニケーション演習



准教授 田村和之 TAMURA Kazuyuki [兼任教員]

専門分野：環境教育/ESD、国際教育協力(理数科分野)、天文学  
研究内容：環境教育、グローバルLESSNSTUDYなど  
授業科目：地球環境、開発と環境(学部授業)など



准教授 寺島幸生 TERASHIMA Yukio [兼任教員]

専門分野：化学物理、理科教育  
研究内容：溶液系の熱分析、理科の教材開発など  
授業科目：理科教育協力研究、理科教育協力授業研究など



准教授 宮部真由美 MIYABE Mayumi

専門分野：日本語教育学、日本語学(語彙、文法)  
研究内容：日本語支援を必要とする児童生徒の日本語教育など  
授業科目：日本語教育学研究、日本語教育学演習、言語習得・発達論、日本語IV



助教 小汐千春 KOSHIO Chiharu

専門分野：動物行動学、行動生態学  
研究内容：昆虫を材料に、選択勾配分析や形態測定の手法を用いて、配偶者選択や性的拮抗共進化について研究している  
授業科目：自然科学の方法



客員教授 村上博信 MURAKAMI Hironobu

専門分野：政府開発援助(主に経済開発分野)、国際協力論、産業開発・民間セクター開発  
研究内容：経済開発における政府の役割、多様性社会と国際協力



国際交流アドバイザー 童安佚 TUNG Ani

専門分野：スポーツ社会学  
研究内容：スポーツ文化におけるナショナル・アイデンティティ形成、スポーツ政策の公共性  
授業科目：国際教育総合セミナーI、国際教育総合セミナーII



# 専門職 学位課程

取得学位 教職修士(専門職)

## 目的と特長

専門職学位課程では、教員の資質能力の総合的な育成により、教科・総合、教職両系における確かな専門性と実践力を有する教員を養成することを目的としています。

教科指導力・教科の枠組みを超えた総合的な指導力と教職実践力の双方の高度化を実現する「ハイブリッド型教職大学院」で、共に学びましょう。

## 教科・総合、教職の両系の学び

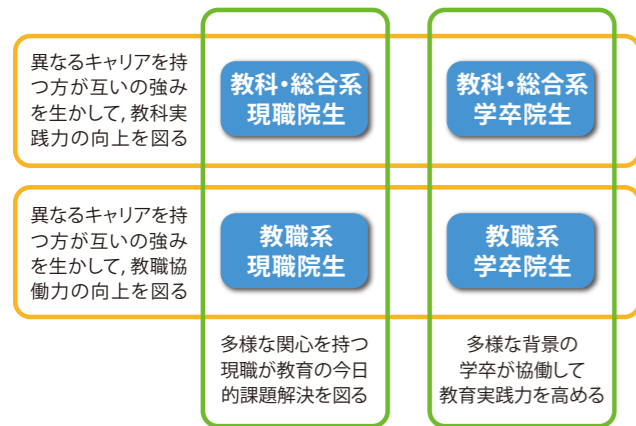
教科・総合系と教職系の系を越えて教育全般に関わる科目を柔軟に履修できます。

## 現職教員と学部卒業生等が、互いに学びあう

現職院生と学部卒業生等、異なるキャリアを持つ方々が、互いの強みを生かして学ぶことができます。

## 《ハイブリッド型カリキュラム編成の基本コンセプト》 (令和6年度現在)

ハイブリッド型カリキュラム → 主体的な学修者、協働的な学修者、課題解決力を有する学修者の育成のプラットフォーム



## 教育現場における充実したフィールドワーク

「理論と実践の往還」の実現のため、専門科目(総合実践力)と連動して個々の実習計画に沿った実習を行い、その成果を報告書としてまとめます。

## 教員免許が大学院で取得できる

教員免許取得に必要な学部の単位を、長期履修学生制度を活用することで、修得できます。修了時に取得できる免許状は「専修免許状」です。

## 教員就職率全国トップクラス

教職大学院の令和4年度修了生の教員就職率は約90%です。

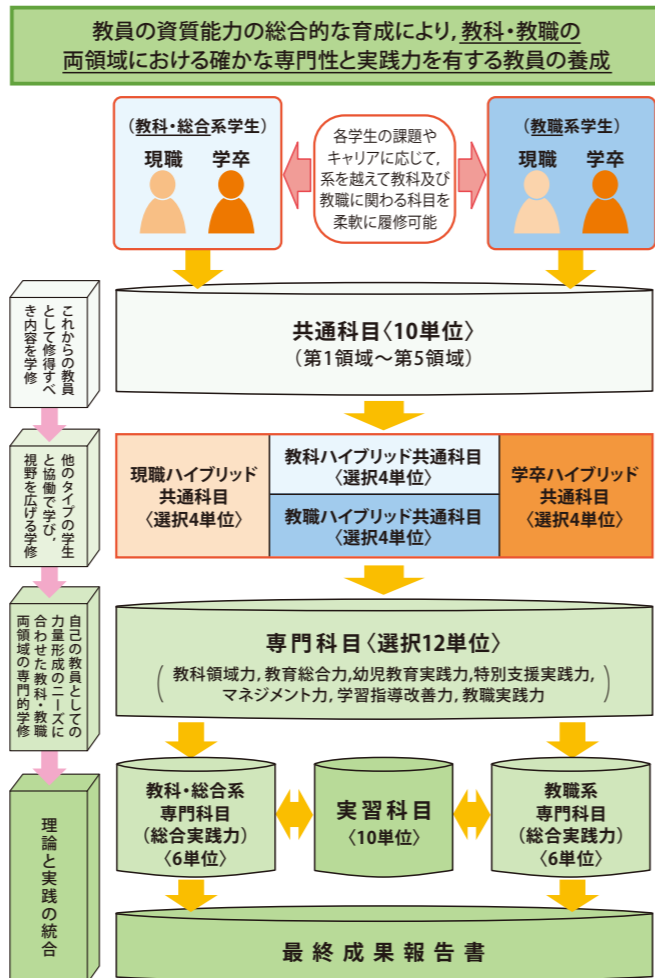
## 現職教員が働きながら学ぶ 「教職大学院遠隔教育プログラム」

**教科・総合系 NEW**  
国語科教育コース、英語科教育コース、社会科教育コース、技術・工業・情報科教育コース、家庭科教育コース、音楽科教育コース、美術科教育コース、保健体育科教育コース、教育探究総合コース

**教職系**  
幼児教育コース、学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コース

2025(令和7)年から教科・総合系においてもプログラムがスタート!!  
詳しくは13ページをご覧ください。

## 《ハイブリッド型カリキュラムの全体構造》 (令和6年度現在)



ゼロ  
「0」からでも  
教員を目指せます。



## 学校教員養成プログラム 《専門職学位課程》

◎このプログラムは出願時に申請が必要です。

**特徴1** 3年間で学部及び大学院(専門職学位課程)の授業科目を履修して教員免許状を取得

**特徴2** 教育実践力の向上をねらいとした体系的な実習科目

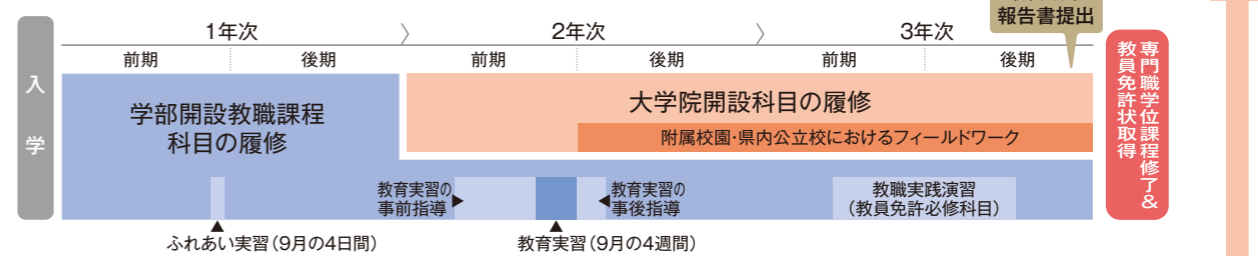
**特徴3** 経済的な授業料  
2年分の授業料を3年間で分割納入していただくことになります。

標準修業年限(2年)+1年  
大学院に3年間在学

学位:教職修士(専門職)

1種免許状  
又は  
専修免許状

【学びのスケジュール】



希望する教員免許状取得に必要な学部の授業科目を履修

大学院の教育課程を履修

いずれかの1種免許状又は専修免許状が取得できます。

※専修免許状の取得には当該種別(教科)の1種免許状を取得し、かつ、専修免許状の取得に必要な大学院授業科目の単位を修得している必要があります。

\*中学校教員養成プログラムを申請された方で、高等学校教諭免許状の取得を希望する場合は、入学後に教務課へ相談してください。

\*\*特別支援学校教諭免許状を取得するプログラムは、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校のいずれかの教員免許状の授与資格を取得または取得見込みの者が対象となります。

- 1) 幼稚園教諭 1種免許状
- 2) 小学校教諭 1種免許状
- 3) 中学校教諭(高等学校教諭) 1種免許状\*
- 4) 特別支援学校教諭 1種免許状\*\*



◇学校教員養成プログラムに関する問い合わせ先◇  
教務部教務課 TEL.088-687-6692



学校や地域・家庭と連携して教育現場の課題解決に活かせる専門的知識を身につけよう!



# 国語科教育コース

コース  
HP



## ことばをみかく

### よりよい国語の授業作り — 専門的な教育と研究 —

「おもしろい国語の授業をしたい」  
「今取り組んでいる課題を深めたい」  
「言語文化についてもっと知りたい」

このようなことを思っている方は本コースで学んでみませんか。

国語科教育コースでは、国語科教育・国語学・国文学を専門とする教員がそれぞれの専門分野を生かしつつ、チームを組んで

小学校から高等学校までのよりよい授業作りを支援します。

複数の教員が担当する授業では、教材研究や模擬授業の際に、複眼的かつ総合的に学びを深めることができます。

### すべては対話から — 気軽に話せる人間関係 —

「すべては対話から」という考え方のもと、良好な人間関係を構築し、所属する院生と

教員の距離が近いのが本コースの特徴です。授業やゼミの時間での議論はもちろん、授業時間以外でも、教員研究室で雑談の花を咲かせています。

院生には、小・中・高等学校で教職に就いている方のほか、本学や他大学の学部の卒業生、教職以外の社会人経験を持った方などが混在し、院生室で賑やかに交流しています。これから社会に出て、教員を目指そうとしている院生は、社会人としての心構え、学校現場の楽しさ、やりがいを学んでいます。

### 修了後のつながり — 広がるサポート —

鳴門教育大学国語教育学会の学会誌『語文と教育』には、院生同士の交流や、ゼミでの活発な討議から生まれた研究成果

が掲載されます。全国の小・中・高等学校で勤務している修了生による教育実践の最新の成果も掲載されており、修了生達の様子を誌面を通して知ることができます。

また、修了生の要望に応じて教員が出前授業を行うなど、国語科教育の内容・方法・

実践の分析、教材の研究と開発、授業のデザインやその改善等を修了生とともに考え、課題解決への道を探るというアフターケアも充実しています。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 幾田伸司 IKUTA Shinji

専門分野：国語科教育学  
研究内容：国語教科書史、国語科教材論、国語科授業論  
授業科目：学校支援のための教科教育実践 I・II、国語科教育(話すこと・聞くこと)の学習指導と授業デザインなど



特命教授 原卓志 HARA Takuji

専門分野：国語学(古典語)  
研究内容：和語・漢語の意味変化についての研究、地方語史の研究、地方寺院所蔵文献の研究  
授業科目：国語科教育の基礎演習(古典文学・語学)、教職基礎力開発演習 I・II など



特命教授 余郷裕次 YOGO Yuji

専門分野：国語科教育学  
研究内容：絵本モニタージュ、音読・朗読指導、国語教材史研究  
授業科目：国語科教育(読むこと)の教材開発演習、国語科教育(話すこと・聞くこと)の学習指導と授業デザインなど



准教授 平川恵実子 HIRAKAWA Emiko

専門分野：日本古典文学  
研究内容：古典文学、寺院資料調査、南方熊楠  
授業科目：国語科教育(古典文学)の内容構成演習、教職基礎力開発演習 I・II など



講師 構大樹 KAMAE Daiki

専門分野：日本近現代文学・文化  
研究内容：宮沢賢治、文豪イメージの形成、定番教材  
授業科目：国語科教育の基礎演習(近現代文学)、国語科教育(近現代文学)の内容構成演習など



# 英語科教育コース

コース  
HP



## 英語を教えることの意味を考える

### フィールドワークを通して、学校現場で求められる英語科授業実践力を養います

英語科授業実践力とは、児童・生徒の実態や学校現場の実状に即して、英語科授業(小学校の場合、外国語活動・外国語の授業)を構想、展開、省察する力です。英語科教育コースでは、学習指導要領をふまつつも、自分らしい英語科授業を行うために、指導案の作成、教材研究や教材開発、情報機器等の教具の活用のあり方、コミュニケーション活動・言語活動のデザイン、授業における教室英語の使い方、授業の振り

返りなど、英語科授業を実践するために必要な資質・能力を、学校現場でのフィールドワーク(実習)と大学での授業を通して養います。

### 英語の専門的知見を通して、言語や文化を学ぶことの意味や面白さを再考します

グローバル化する現代社会における生き残りのために、日本人の英語力の育成がこれまで以上に叫ばれています。そのようななか、私たち個々人の日常生活や将来の夢とかけ離れた英語の学習や教育が行われて

いるという実態がないでしょうか。何のために英語を学ぶ(教える)のか—このような時代だからこそ、改めて英語を学ぶ(教える)ことの意味を問い直し再確認する必要があるのではないでしょうか。英語科教育コースでは、さまざまなキャリアをもつ者、例えば、英語や英語文化を専門とする者、英語教師を目指す者、学校で英語を教えた者、他分野に学びこれから英語教育の専門を修めようとする者がつどい、英語学や英語文学といった英語や英語文化に関する専門、その楽しさや面白さを学び、学校英語教育の意味を再考します。

### 新しい時代の英語教育を切り開く実践的な研究力を身につけます

現在、学校英語教育では、小学校・中学校・高等学校の英語教育の接続、ICT機器やデジタル教材の活用、アクティブ・ラーニングの導入、英語による授業実践などが求

められ、授業のあり方が大きく変わろうとしています。また、英語教育・学習の状況や課題は、地域や学校により、同じ学校であっても学級により、さらには、児童・生徒により異なります。その状況や課題は、時代を経て変化していきます。そのような中において、自分が英語を学んできた(教えられてきた)方法をもとに、与えられた教科書・教材をマ

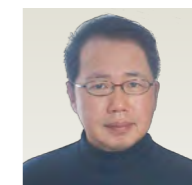
ニユアル的にこなしているだけでは、多様で、かつ、変化していく状況・課題に対処することはできません。つまり、教員自身がみずから考え、新たな英語科教育を創造・展開していくことが求められます。英語科教育コースでは、英語教育学の研究手法を用いて、よりよい英語科授業実践の方法や内容を追究する力を育成します。

担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 藪下克彦 YABUSHITA Katsuhiko

専門分野：理論言語学(形式意味論(formal semantics)), 英語学  
研究内容：論理学、ゲーム理論、情報理論、確率論などの形式的(formal)道具立てを用いた言語現象、特に意味、解釈に関する現象の分析言語学、英語学の英文法教育への応用など  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習(英語) 英語科教育の内容構成演習A



教授 山森直人 YAMAMORI Naoto

専門分野：英語教育学  
研究内容：英語科授業研究、英語科教師教育研究、英語科経営研究など  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習(英語) 英語科教育の教材開発演習B



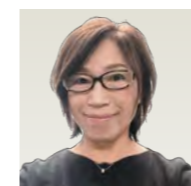
准教授 Gerard Marchesseau ジェラード マーシェソ [兼任教員]

専門分野：Communicative Language Teaching  
研究内容：Motivation, Content-based language teaching  
授業科目：教職基礎力開発演習(英語)



准教授 千菊基司 SENGIKU Motoji

専門分野：英語教育学  
研究内容：英語科指導法に関する研究  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習(英語) 英語科教育の学習指導と授業デザインB



特命准教授 佐藤美智子 SATO Michiko

専門分野：小学校外国語教育  
研究内容：指導と評価の一体化、自律的学習者を育成する外国語の授業の在り方  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習(英語) 英語科教育の教材開発演習A、英語科教育の学習指導と授業デザインA



講師 木口圭子 KIGUCHI Keiko

専門分野：英語文学  
研究内容：イギリス詩、Stevie Smith  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習(英語) 英語科教育の基礎演習B、英語科教育の内容構成演習B



講師 森山俊成 MORIYAMA Kazushige

専門分野：英語学、言語学  
研究内容：言語の階層性  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習(英語) 英語科教育の基礎演習A



客員教授 直山木綿子 NAOYAMA Yuko

専門分野：外国語(英語)教育  
研究内容：学習者が思考を働かせ、外国語によるコミュニケーションを図る力を身に付ける指導の在り方  
授業科目：英語科教育の教材開発演習A、英語科教育の学習指導と授業デザインA



# 社会科教育コース

コース  
HP



## 社会を見る眼,伝える力を養う

### 社会科に関わる4分野を究めます

本コースでは、「歴史学分野」「地理学分野」「公民系分野」「社会科教育学分野」の4分野について、専門的・総合的な研究ができます。それぞれ独自の専門を持ち、ユニークな研究を行っている8人の教員から、丁寧な個別指導を受けることができます。関心・テーマに基づいた各分野の学問研究を深めることができます。

### 演習や教育現場での実習を通して、専門性を深め、教育実践力を高めることができます

大学での少人数の演習・ゼミ活動で学ぶことで、各分野の背景となる人文・社会諸科学の学問的基盤を深めることができます。その上で、教育現場での実習(フィールドワーク)を通して、教科内容の総合的な分析、教材開発、さらにはそれらを活かした授業デザインを行う能力を身につけます。小学校から高等学校までの社会系教科における授業・カリキュラム開発に求められる、高い専門性と教育実践力の修得をめざします。

### しっかりとした理論に根ざして、社会科の諸課題に対応できます

演習では、社会の見方・考え方について、院生と教員が互いに意見を交わしあい、よりよい授業実践のための土台をつくることができます。実習では、演習で学んだことを活かし、児童・生徒との対話をしながらの授業実践を行うと同時に、さまざまな教育業務の経験を積むことで、教育現場の理解を深めることができます。

### 仲間と共に教師への夢を語り合う

学部を卒業したばかりの院生、社会人を経験した院生、そして現職教員の院生が、同じ院生として学び合います。その多様性が、新しい飛躍の原点です。さまざまな立場の院生が切磋琢磨しながら、教育・研究について活発な議論を行う、活気に満ちた大学院生活は、必ずやあなたの人生のステップアップに活かされることでしょう。自分の将来、人類の未来について、一緒に語り合い、新たな道を切り拓きませんか。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 青葉暢子 AOBA Nobuko

専門分野：経済学  
研究内容：労働経済学、保険論、応用ミクロ経済学、情報経済論  
授業科目：社会認識教育(公民)の内容構成演習A,B, 社会認識教育(公民)の教材開発演習A,B, 社会認識教育(公民)の学習指導と授業デザインA,B



教授 伊藤直之 ITO Naoyuki

専門分野：社会科教育学、地理教育  
研究内容：社会科教育におけるケイパビリティ論、社会教育と連携(学社連携)した教科教育  
授業科目：社会認識教育(地理歴史)の学習指導と授業デザインAなど



教授 原田昌博 HARADA Masahiro

専門分野：西洋史(ドイツ現代史)  
研究内容：ワイマル共和国時代におけるナチズム運動の展開  
授業科目：社会認識教育(地理歴史)の内容構成演習B 社会認識教育(地理歴史)の教材開発演習B



教授 町田 哲 MACHIDA Tetsu

専門分野：日本史(日本近世史、地域史)  
研究内容：近世村落史、山里の生業と流通、四国遍路と地域文化  
授業科目：社会認識教育(地理歴史)の内容構成演習B 社会認識教育(地理歴史)の教材開発演習B



特命教授 立岡裕士 TATUOKA Yuuzi

専門分野：地理学  
研究内容：地理思想、地図表現  
授業科目：社会認識教育(地理歴史)の内容構成演習Aなど



准教授 井上奈穂 INOUE Naho

専門分野：社会科教育学  
研究内容：学習評価、授業方法  
授業科目：社会認識教育(公民)の学習指導と授業デザインA・B



准教授 畠山輝雄 HATAKEYAMA Teruo

専門分野：人文地理学  
研究内容：公共サービスに関する地理学的研究、地域政策における「地域」の捉え方  
授業科目：社会認識教育(地理歴史)の教材開発演習Aなど



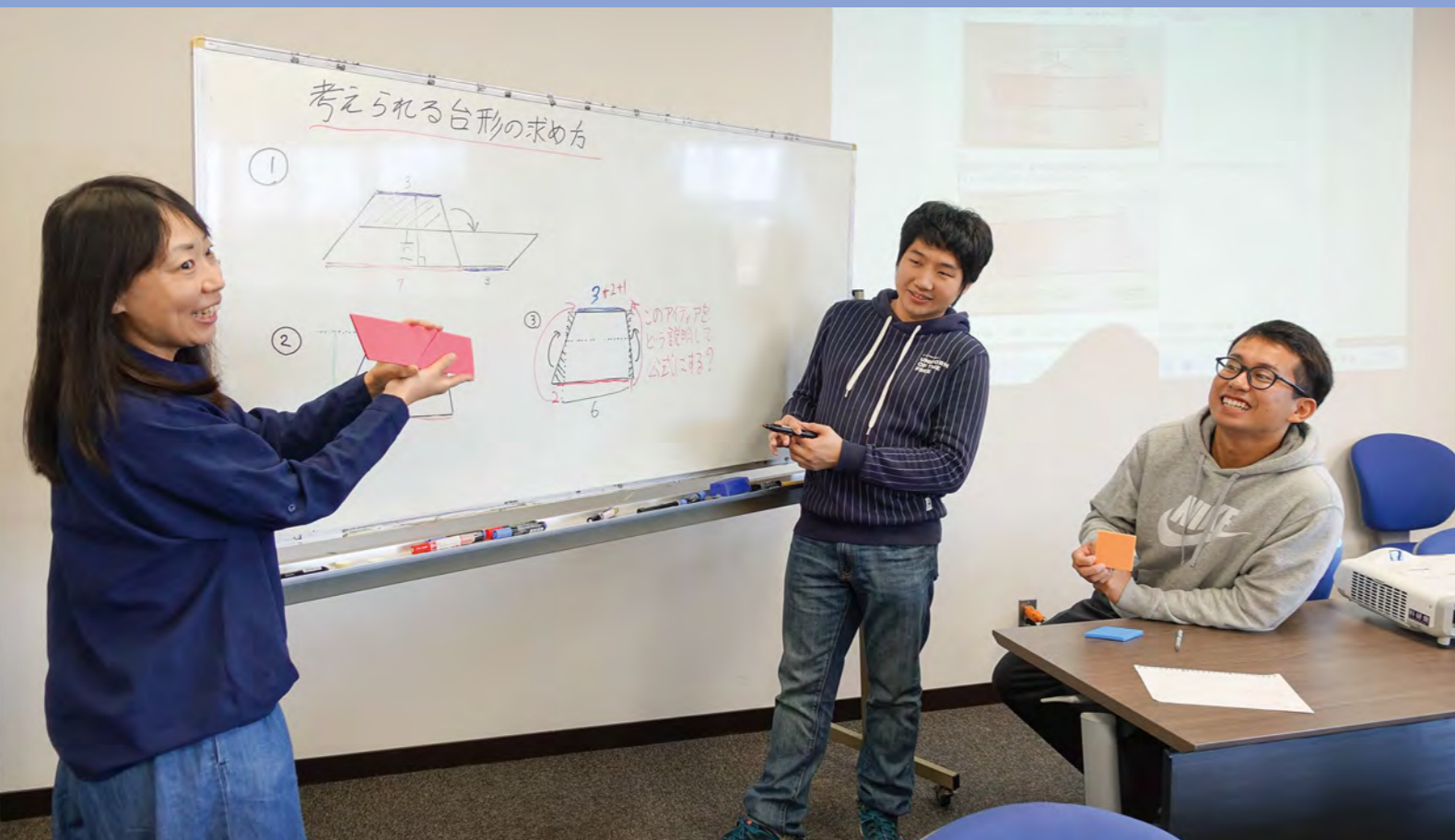
准教授 眞野 豊 MANO Yutaka

専門分野：社会学  
研究内容：ジェンダー、セクシュアリティ、多様性と教育に関する研究など  
授業科目：社会認識教育(公民)の内容構成演習B, 社会認識教育(公民)内容構成演習Aなど



# 数学科教育コース

コース  
HP



## 未来を切り拓く算数・数学教育の創造!

### 数学の専門性と数学教育の知見を基礎にした高い実践力を育成します

算数・数学の教育では、児童生徒を深い理解に導くとともに、学習内容を活用する力を育成することが重要です。数学科教育コースでは、そのような質の高い授業実践力を備えた算数科・数学科担当教員の養成を目的としています。そのために、数学の専門性を基礎にしながら、児童生徒の発達や認知特性に合わせた授業が実践できる力を育成します。

### 理論と実践を往還する講義体系を構築しています

講義では、算数・数学教育の理論と実践をバランスよく学べることを目標としています。授業デザインや教材開発の理論を学んだ後、それを実際に模擬授業等を通して実践することで、理論に対する深い理解と授業実践力が身につきます。このような理論的知見と授業実践力を基礎にして、学校現場におけるフィールドワークに臨みます。このフィールドワークと課題研究を通して、算数・数学教育の多岐にわたる課題に対応

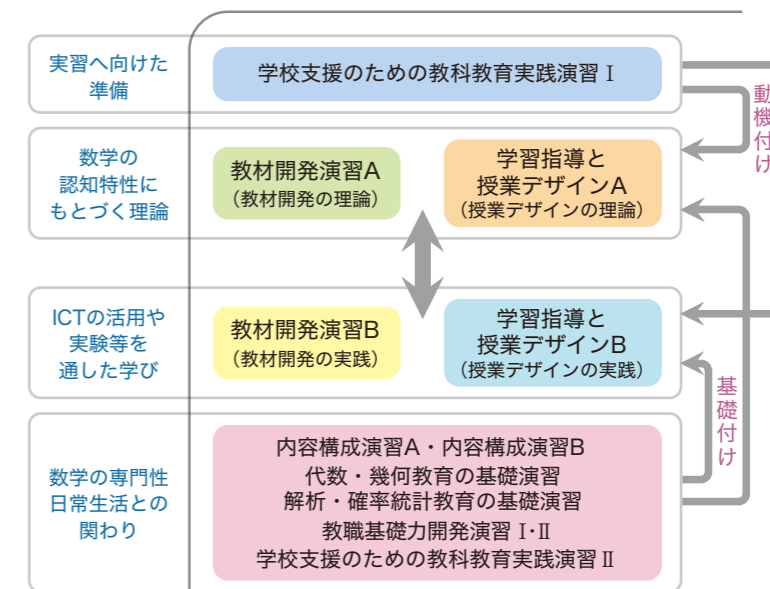
できる応用力を高めます。また、数学と数学教育の専門性を同時に高められるよう、数学が専門の教員と数学教育が専門の教員が連携して授業を実施しています。

### 学生一人一人の興味関心・資質に沿った指導を行っています

数学科教育コースでは、学生一人一人の興味関心を大切にし、個々の特性や資質を伸ばすことを目標としています。そのため、少人数体制で実施する研究指導は指導

教員が主として担当しますが、指導教員以外の教員とも自由に議論できる環境を提供しています。例えば、専門(数学あるいは数学教育)が異なる複数の教員と議論することができます。さらに、コースに所属する学生が、研究内容を相互に共有し意見交換する機会も設けています。また、教材に関する豊富な文献や教員が揃っていますので、教材についての様々な着想を得ることができます。課外活動として教員採用試験の過去問題を解説指導する教員採用試験対策塾も開いています。

### 《数学科教育コースの授業構成》



#### 【数学科教育コースの紹介ページ】

教育理念、教育の特色、授業紹介等が掲載されていますので、以下のURLまたはQRコードからアクセスしてご覧ください。 <https://narutomath.wixsite.com/my-site>



#### 【NaruMathチャンネル】

山中仁准教授が、YouTubeの「NaruMathチャンネル」で数学科教育コースや数学・数学教育学の紹介をしているので、そちらも是非ご覧ください。 <https://www.youtube.com/@NaruMathChannel>



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 秋田美代 AKITA Miyo

専門分野: 数学科教育学  
研究内容: 創造性の育成, 自律的学習能力の育成, 教員教育  
授業科目: 数学科教育学特論, 主免教育実習事前・事後指導(学部), 学校支援のための教科教育実践演習I, 数理認識教育(数学)の学習指導と授業デザインA(大学院)など



准教授 田中晴喜 TANAKA Haruyoshi

専門分野: 確率論, エルゴード理論, フラクタル  
研究内容: 非共形反復関数系の漸近解析, 及び転送作用素の摂動解析による準安定系の研究  
授業科目: 確率・統計学, 計算数学(学部), 教職基礎力開発演習II(大学院)など



准教授 早田透 HAYATA Toru

専門分野: 数学科教育学  
研究内容: 一般化, 授業研究の国際比較, 間接証明  
授業科目: 数学科教育論, 数学科教材論など(学部)



准教授 藤原大樹 FUJIWARA Daiki

専門分野: 数学科教育学  
研究内容: 数学的モデリング, 関数・統計教育, 学習評価  
授業科目: 算数A, 算数B(学部), 算数・数学の学習指導と授業デザインB(大学院)など



准教授 山中仁 YAMANAKA Hitoshi

専門分野: 幾何学, トポロジー  
研究内容: 変換群論, GKM理論  
授業科目: 幾何学I, 幾何学II, 幾何学III, 幾何学特論(学部), 教職基礎力開発演習I(大学院)など



講師 宇田川陽一 UDAGAWA Yoichi

専門分野: 解析学  
研究内容: 作用素論  
授業科目: 解析学I, 解析学II, 解析学III, 解析学特論(学部), 解析・確率統計教育の基礎演習(大学院)など



# 理科教育コース

コース  
HP



## 目指すのは研究し続ける理科教師

流行や小手先のテクニックに走らず、自然科学の普遍的本質に迫る理科教育を追求します

理科教育コースでは、物理学・化学・生物学・地学および理科教育を専門とする各教員が、それぞれの専門領域の特長を生かして、生涯にわたって研究し続けることができる理科教師の育成を目指しています。

理科教師には、小学校、中学校、高等学校等の校種を問わず、新しい科学的知見に基づく自然科学に関する幅広い知識と深い理解が求められます。流行や小手先のテク

ニックだけでなく、自然科学の普遍的本質に迫る理科教育を追求していく姿勢が大切です。大学院生においては、自然科学の専門性を高めながら、理科教育の改善・発展に資する教材・教具、学習方法等を開発し、将来効果的な理科授業を実践するための資質・能力を養うことが求められます。

有意義な大学院生活を送るために

有意義な大学院生活を送るには、必要な知識や技能を習得し、科学的思考力・判断力・表現力等を磨く研究活動が欠かせませ

ん。教職経験のある人なら、教材研究や授業研究における研究の重要性を実感したことがあるでしょう。研究のプロセスは、授業研究でも自然科学や理科教育に関する専門的研究でも基本的には同じです。解明・解決すべき課題を見出し、仮説を設定し、仮説を検証する方法を計画・実施して基礎的データを集めて分析し、その結果に対する解釈を与えた上で、発見した事実を発表したり解決の方法を提案したりすることになります。大学院での研究生活の質は、将来教師としての教育活動の質を左右すると考えてよいでしょう。

専門職学位課程では、修了に必要な単位数や実習の時間が多く、落ち着いて研究する時間を確保し難いという課題があります。時間管理を工夫して授業や実習と研究とを上手に両立し、本学大学院で充実した研究生活を過ごされることを期待しています。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 武田 清 TAKEDA Kiyoshi [兼任教員]  
専門分野：準安定液体の物理化学  
研究内容：低分子物質の過冷却液体、非晶質状態に関する熱力学および分光学的研究  
授業科目：教職基礎力開発演習Ⅰ



教授 早藤 幸隆 HAYAFUJI Yukitaka  
専門分野：科学教育, 理科教育  
研究内容：高度な科学的素養と実践的な指導力を培う科目・分野横断的広領域型科学実験教材の実証的な研究  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習Ⅰ, 自然科学教育(理科)の学習指導と授業デザインA



教授 本田 亮 HONDA Makoto  
専門分野：物理学  
研究内容：物性物理学  
授業科目：自然科学教育(理科)の教材開発演習A



特命教授 胸組 虎胤 MUNEGUMI Toratane [兼任教員]  
専門分野：有機化学, ペプチド化学, 立体化学, 化学教育, STEAM教育  
研究内容：化学進化の観点から生命の起源に関連する研究, STEAM教育の理論と実践の研究など  
授業科目：自然科学(理科)の内容構成演習B



准教授 粟田 高明 AWATA Takaaki  
専門分野：放射線物理, エネルギー・放射線教育  
研究内容：放射線・紫外線励起による物質の発光現象の研究, 中等教育におけるエネルギー・放射線教育  
授業科目：自然科学教育(理科)の内容構成演習A, 学校支援のための教科教育実践Ⅱ, 教職基礎力開発演習Ⅱほか



准教授 田川 一希 TAGAWA Kazuki  
専門分野：植物生態学, 生物教育  
研究内容：食虫植物の自然史, 植物と動物の種間相互作用, 生態学・進化生物学の教材開発  
授業科目：自然科学教育(理科)の教材開発演習B



准教授 寺島 幸生 TERASHIMA Yukio  
専門分野：化学物理, 理科教育  
研究内容：溶液系の熱分析, 理科の教材開発など  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ(理科)など



准教授 福地 里菜 FUKUCHI Rina  
専門分野：海洋地質学, 付加体地質学  
研究内容：付加体の形成過程や発達史  
授業科目：自然科学教育(理科)と学習指導と授業デザインBなど



# 技術・工業・情報科教育コース

コース  
HP



## ものづくりと情報の専門性と 教育実践力を養う

### ものづくりと情報を二本柱として 専門性を養います

技術・工業・情報科教育コースでは、科学技術、高度情報化、環境等の諸要素に関して専門的かつ総合的に捉えて学校教育の実践に活かせる力量をもつ教員を送り出すために、「ものづくり」と「情報」を二本柱として教育研究に取り組んでいます。「ものづくり」では、森林資源の有効活用と学習者の想像力の喚起に繋がる木材加工、樹木年齢からの古環境復元、エネルギー変換の仕組みとエネルギー教育、CADと3Dプリンタによる自動加工、イオン電子装置の開発などを研究しています。「情報」では、情報機器

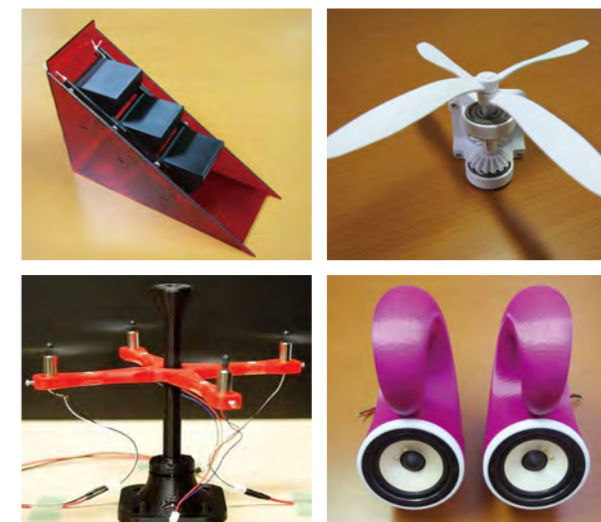
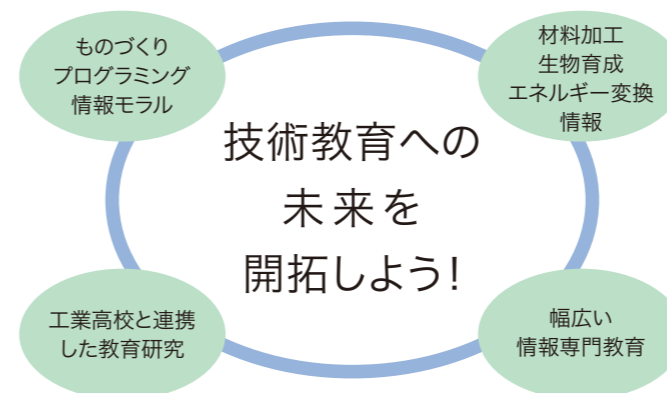
の変遷、音の情報処理、情報倫理教育、ロボット制御と遠隔計測、プログラミング教育、地域環境解析、ネットワークセキュリティなどの研究課題に取り組んでいます。

### 学習環境・社会の変化に対応 できる教育実践力を養います

Society5.0時代を見据え、学校では教育の情報化が推進されています。小学校でのプログラミング教育や中学校技術・家庭科での「情報の技術」、高等学校情報科など教科での利用や、それらを支えるGIGAスクール構想による端末の整備などが進められています。これらの学習環境の変化に対

応すべく、本コースでは研究課題の学校教育における応用を目指して、附属学校園や協力校での教育実践を行ないながら、関連する多様な教材開発等の教育研究を行っています。例えば、令和5年度の学修成果発表会や構想発表会で報告された研究で扱われたキーワードは「デジタルものづくり」、「計測・制御」、「双方向性」、「プログラミング教育」、「プログラミング的思考」、「情報セキュリティ」、「災害対策」などがあります。

また、本コースでは各種のものづくりや情報に関わる競技会やコンテストも支援しています。これらの活動を通じた教育実践も行なっています。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 伊藤陽介 ITO Yosuke

専門分野：情報工学  
研究内容：地球観測情報処理、自律型ロボットの開発と教育利用  
授業科目：ICT教育(情報)の教材開発演習A, 教職基礎力開発演習I(技術・工業・情報)など



教授 曽根直人 SONE Naoto

専門分野：情報工学  
研究内容：ネットワークセキュリティ、情報システムの運用  
授業科目：ICT教育(情報)の学習指導と授業デザインB, 学校支援のための教科教育実践演習II(技術・工業・情報)など



教授 宮下晃一 MIYASHITA Koichi

専門分野：機械工学  
研究内容：デジタルものづくり、エネルギー変換教材の開発  
授業科目：技術・工業・情報教育の基礎演習, 学校支援のための教科教育実践演習II(技術・工業・情報)など



教授 宮本賢治 MIYAMOTO Kenji

専門分野：電気工学  
研究内容：核融合等におけるプラズマ理工学  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習I(技術・工業・情報), ものづくり教育(技術・工業)の学習指導と授業デザインBなど



教授 米延仁志 YONENOBU Hitoshi

専門分野：材料加工  
研究内容：樹木年輪を用いた古環境復元  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習II(技術・工業・情報), ものづくり教育(技術・工業)の学習指導と授業デザインAなど



准教授 阪東哲也 BANDO Tetsuya

専門分野：情報教育, 情報工学  
研究内容：小学校プログラミング教育, ICTを活用した授業づくり  
授業科目：ICT教育(情報)の学習指導と授業デザインA, ICT教育(情報)の内容構成演習Aなど



講師 美井野優 MIINO Yuu

専門分野：情報工学  
研究内容：力学シミュレーション, Web アプリ開発  
授業科目：ICT教育(情報)の学習指導と授業デザインB, ICT教育(情報)の内容構成演習Bなど



# 家庭科教育コース

コース  
HP



## 新たなライフスタイルを担う、 次世代を育成します

### 持続可能な未来づくりを担う

日々の衣・食・住を営む力、よりよい選択や維持管理、ロスの削減といった消費者の行動は、気候危機が迫る中で持続可能な未来にバトンを引き継ぐ大きな鍵となっています。現代の山積する課題に対して、いかに日常生活の実践で対処するのかを学ぶのが家庭科教育です。Think Globally, Act Locallyを合言葉に、持続可能なライフスタイルを創造できる次世代を育成します。

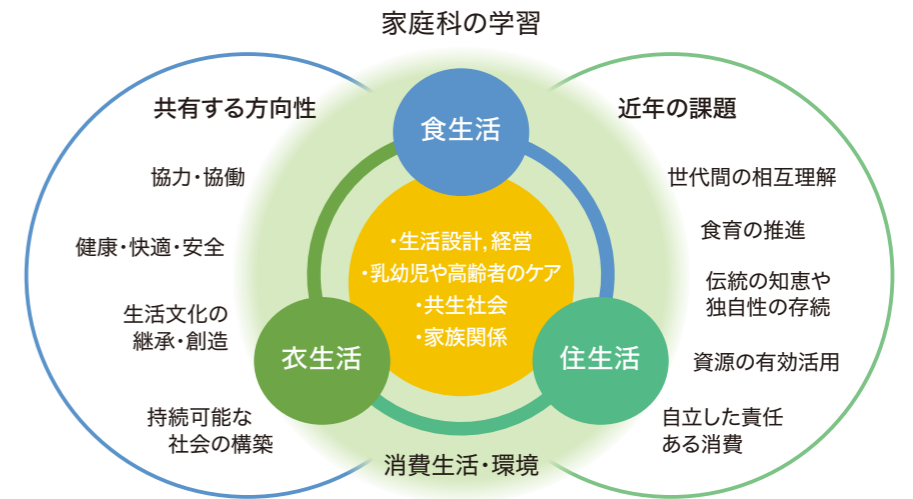
### 専門の学びを深める

家庭科は社会の変化に応じて、教育内容や方法のアップデートが求められます。大学院では興味関心に応じて追求したいテーマを決め、所属したゼミナールの分野で、教育内容や方法についての研究に取り組みます。日々の授業の中では、幅広い専門領域の教員から少人数で丁寧な指導を受けることができ、多分野の専門性も深められる体制となっています。

### 実践に生きる力を磨く

生活技能が乏しい児童・生徒が多い中、興味や関心を惹きつけ、限られた授業時間の中で効果的な授業を行うには工夫と高い専門性が求められます。大学院では、教育現場をフィールドとした実践の機会が豊富に設けられています。専門性と実践力を同時に磨き、実践の場に生きる知識・経験を深められるよう、ともに切磋琢磨していきましょう。

様々な課題を解決するために、家庭科の授業だからできることが、たくさんあります。追求したいテーマを設定し、効果的な内容や方法への考えを深め、未来を託す次世代のための授業を創造しましょう。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 **金貞均** KIM Jeong-gyun  
 専門分野：住居学, 住生活学  
 研究内容：東アジアにおけるネットワーク居住研究, 比較居住研究  
 授業科目：生活科学教育(家庭)の内容構成演習



教授 **坂本有芳** SAKAMOTO Yuka  
 専門分野：生活経営学, 消費者教育  
 研究内容：デジタル化の影響や持続可能な消費の実践についての実証的研究  
 授業科目：生活創造教育(家庭)の内容構成演習



教授 **西川和孝** NISHIKAWA Kazutaka  
 専門分野：食生活学  
 研究内容：実験・実習による食生活学の研究  
 授業科目：生活科学教育(家庭)の教材開発演習



教授 **速水多佳子** HAYAMI Takako  
 専門分野：家庭科教育学  
 研究内容：小・中・高等学校の家庭科授業研究, 授業開発  
 授業科目：学習指導と授業デザイン, 教材開発演習



教授 **福井典代** FUKUI Michiyo  
 専門分野：衣生活学  
 研究内容：消費科学的な観点からの被服に関する研究  
 授業科目：生活科学教育(家庭)の学習指導と授業デザイン



講師 **小野瀬裕子** ONOSE Hiroko  
 専門分野：家庭経営学, 保育学  
 研究内容：家庭科におけるESDの理論と実践  
 授業科目：生活創造教育(家庭)の内容構成演習



# 音楽科教育コース

コース  
HP



## 「信じる。」音楽の力を、夢の力を

### 音楽科教師になるためのコースです

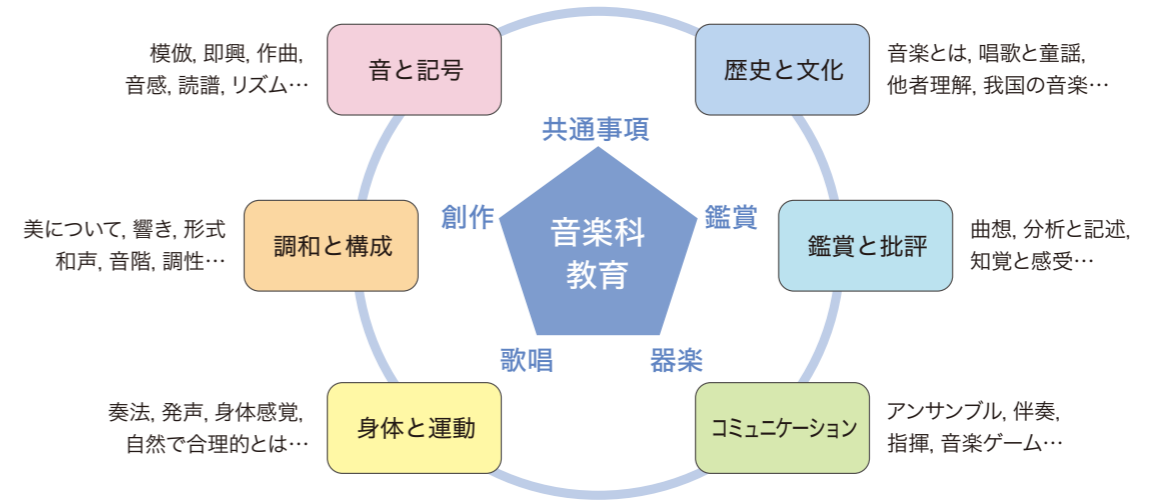
音楽科教育コースでは、教育実践力を高めるために音楽科における様々な活動の背景にある思想や理論を探求します。子どもの学びの場面で生じる問題を学生と教員が共に検討する授業を通して、指導方法や授業デザイン、あるいは教材開発へとつなげます。そして学生はフィールドワークで学校現場におもむき、教師としての様々な実践を通して、実習責任教員・実習指導教員とともに省察を行いつつ、自身の教育実践力を高めます。最終的にそれらは『最終成果報告書』にまとめられ、『学修成果発表会』において発表(演奏実技を含む)されます。

### ゼミでは指導教員から実技のレッスンを受けることができます

音楽科教師として様々な音楽と教育に関する幅広い技能・知識が必要とされるのはもちろんですが、自分の強み、個性として何らかの専門的なバックボーンは持っておきたいものです。『教育実践研究I・II』(ゼミ)においては、学生の要望に応じて実習責任教員・実習指導教員から専門分野である声楽やピアノ、管楽器、指揮などを個人レッスンの形式で学ぶとともに、音楽科教育学についてのアカデミックな指導を受けることができます。

### 音楽を専門としない学生も学んでいます

学部で音楽を専門としていなかった学生、あるいは音大で専門の実技しか学ばなかった学生も教職大学院で実践力を磨きながら、3年間(長期履修)の「学校教員養成プログラム」を利用して教員免許状取得のための学部の授業を受け、教育実習に行くことによって教職大学院修了時に中学校や高等学校の音楽科教員、あるいは小学校教員の専修免許状を取得することができます(入学願書提出時に申し出る必要があります。詳しくはガイドブックの『学校教員養成プログラム』あるいは学生募集要項の『長期履修学生制度について』をごらんください)。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



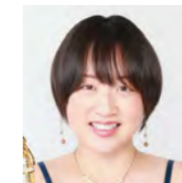
教授 鉄口真理子 TETSUGUCHI Mariko  
専門分野：音楽科教育学  
研究内容：音楽科授業、身体性、郷土の音楽  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習など



教授 森 正 MORI Tadashi  
専門分野：ピアノ  
研究内容：ピアノ演奏、ピアノ演奏指導  
授業科目：音楽科の学習指導と授業デザインなど



教授 山田啓明 YAMADA Hiroaki  
専門分野：指揮  
研究内容：オーケストラや合唱の指揮、および歌曲のピアノ伴奏  
授業科目：教職基礎力開発演習など



講師 日下瑠子 KUSAKA Yoko  
専門分野：管楽器(サクソフォン)  
研究内容：サクソフォン演奏及び作品研究、器楽教育、多様な発達段階を対象とした演奏会の構成  
授業科目：音楽科の教材開発演習など

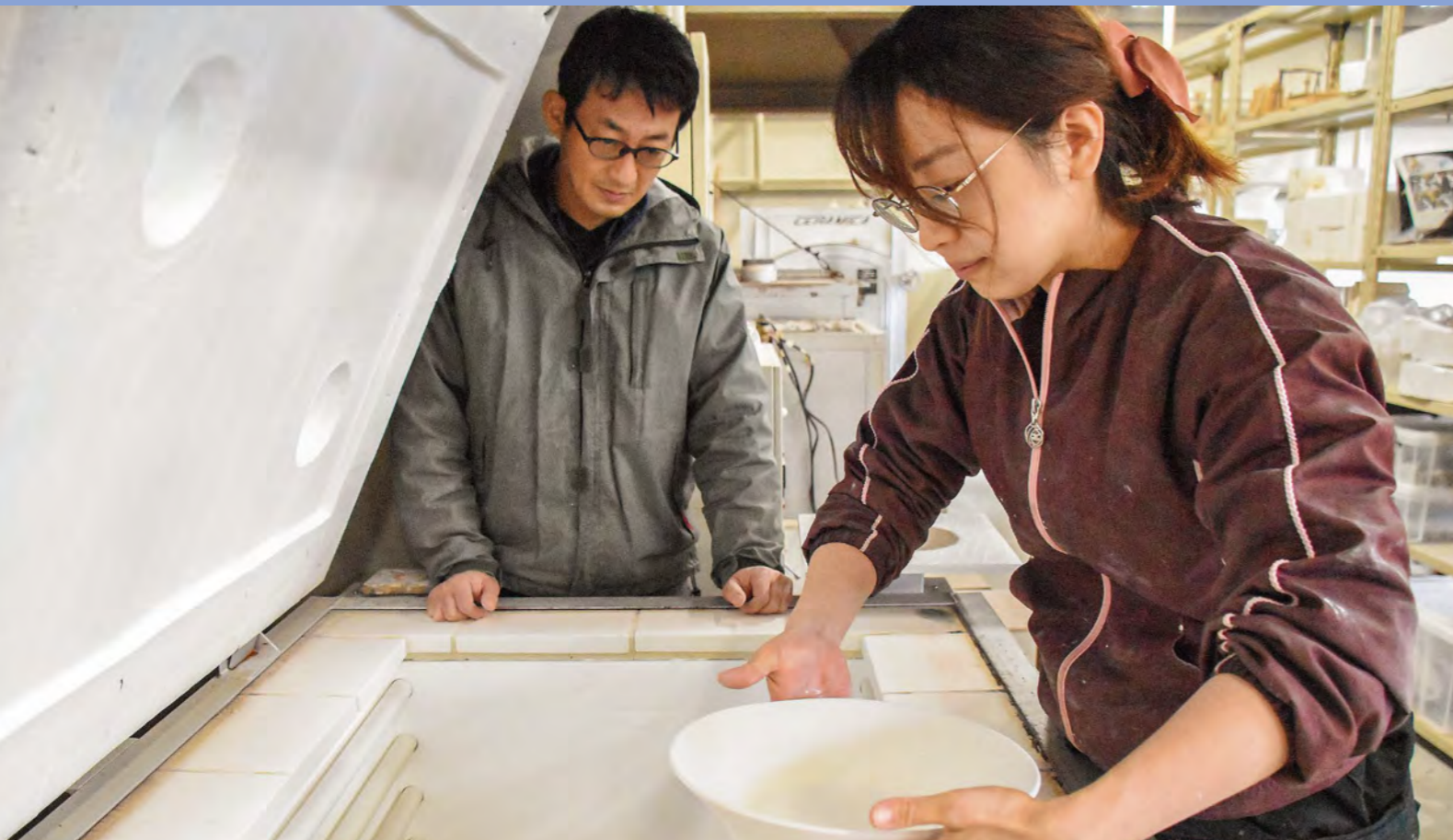


講師 小島芙美子 KOJIMA Fumiko  
専門分野：声楽(ソプラノ)  
研究内容：J.S.バッハの声楽作品、およびドイツ歌曲の歌唱法と作品研究  
授業科目：音楽科の内容構成演習など



# 美術科教育コース

コース  
HP



## 子どもの創造性を伸ばす高い専門性を磨く

**複数の教員による指導によって教職としての専門性が高められます**

美術科教育コースには、絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術史・美術科教育を専門とする教員が在籍しています。教員はそれぞれの専門分野を生かして、図画工作・美術教育の内容・方法・実践の分析、教材の開発と研究等について支援を行います。「図画工作・美術のより充実した授業を展開したい」「アーティストとして作品制作を究めたい」「芸術の理論的な課題を解決したい」など多くの要望に応えるため、教員一同、高い専門性を発揮して、大学院生と共に高めあってゆきます。

**様々なキャリアの学生、教員との交流の中で学びを深めることができます**

教員と院生、そして学部生を含めたメンバー全員が一つの家族のように一体となって、よりよい美術教育の実現に向かって邁進しています。ゼミあるいは勉強会での指導や討議などを通じて、自分自身の研究課題に向き合い、多くの仲間からのアドバイスを得ながら、理想の教育を探求することができます。現職の大学院生も在学しており、これから教員を目指す大学院生は、常に、現職教員から様々な実践的なことを学ぶことができます。

**充実した環境のなかで専門性を高めることができます**

作品制作の場として、大学院では高度な専門性を培う場として、大学院生が一人ずつ十分なスペースを与えられて、思う存分自己の作品制作に没頭する環境も保障しています。学部生も含めて、共同利用のアトリエにおいて、お互いに切磋琢磨しながら、自己の表現を追求する場として機能しています。そこで結実した作品は、美術コースが長年継続してきた、卒業・修了制作展で発表することで、多くの人々からの反響を得ることができます。



充実した環境とカリキュラムでより深い学びへ



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 栗原 慶 KURIHARA Kei

専門分野：工芸(陶芸)  
研究内容：陶芸表現の研究、及び工芸の制作プロセスを取り入れた教材研究  
授業科目：美術の教材開発演習A、美術の内容構成演習B 他



教授 内藤 隆 NAITO Takashi

専門分野：デザイン  
研究内容：主にグラフィック・デザインの造形・表現研究、デザインの観点からのコミュニケーション・造形についての研究  
授業科目：美術の教材開発演習A、美術の内容構成演習B 他



教授 山田芳明 YAMADA Yoshiaki

専門分野：美術科教育学  
研究内容：主として授業分析にもとづく図画工作科、美術科教師の力量形成  
授業科目：美術の学習指導と授業デザインB、教職基礎力開発演習II 他



特命教授 小川 勝 OGAWA Masaru

専門分野：美術史・芸術学  
研究内容：洞窟壁画をはじめとする先史岩面画の芸術学的調査研究  
授業科目：美術の内容構成演習A、教職基礎力開発演習I 他



特命教授 鈴木久人 SUZUKI Hisato

専門分野：絵画  
研究内容：ミクストメディアによる絵画制作とその素材と表現について  
授業科目：教職基礎力開発演習I、美術の内容構成演習A、教育実践研究I 他



准教授 家崎 萌 IEZAKI Moe

専門分野：美術科教育学  
研究内容：美術・図画工作の授業開発や国際交流、他者や場にかかわる造形活動の研究等  
授業科目：美術の学習指導と授業デザインA、教職基礎力開発演習II 他



准教授 武内優記 TAKEUCHI Yuki

専門分野：彫刻  
研究内容：メディア混交による立体及び空間表現の研究  
授業科目：美術の内容構成演習A、美術の教材開発演習B 他



# 保健体育科教育コース

コース  
HP



理論

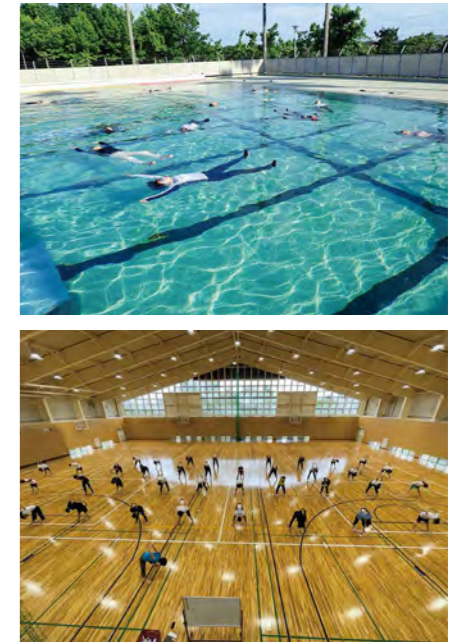
保健体育科教育

実技

- 体育学**  
体育哲学 体育史 体育心理学  
体育社会学 体育経営管理学
- 運動学**  
運動学 運動生理学 解剖学  
バイオメカニクス 運動方法学
- 学校保健**  
学校保健 健康教育  
衛生学 公衆衛生学

指導法  
教材研究  
カリキュラム  
開発

- 体づくり運動
- 器械運動
- 陸上運動
- 水泳
- 球技
- 武道
- 表現運動
- 野外運動



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 **松井敦典** MATSUI Atsunori  
専門分野：運動学  
研究内容：スポーツ・バイオメカニクスによる技能評価、水泳教育の内容と方法ほか  
授業科目：健康・スポーツ教育(体育)の教材開発演習ほか



教授 **南 隆尚** MINAMI Takahisa  
専門分野：運動学  
研究内容：野外活動における教育的効果、スポーツトレーニング、ゲーム分析  
授業科目：健康・スポーツ教育(体育)の教材開発演習ほか



教授 **湯口雅史** YUGUCHI Masafumi  
専門分野：体育科教育学  
研究内容：体育授業論、社会構成主義にアプローチする体育学習のあり方  
授業科目：教職基礎力開発演習、学校支援のための教科教育実践演習ほか



特命教授 **藤田雅文** FUJITA Masafumi  
専門分野：体育・スポーツ経営学、体育科教育学  
研究内容：運動部顧問の管理行動研究、器械運動の授業研究ほか  
授業科目：健康・スポーツ教育(体育)の内容構成演習ほか



准教授 **齋藤祐一** SAITO Yuichi  
専門分野：体育科教育学  
研究内容：持久走・長距離走の学習内容、保健体育科教師の評価観  
授業科目：学校支援のための教科教育実践演習、健康・スポーツ教育(体育)の学習指導と授業デザインほか



講師 **泉 彩夏** IZUMI Ayaka  
専門分野：学校保健学、保健科教育学、健康教育学  
研究内容：児童生徒の健康問題、保健授業の実践  
授業科目：健康・スポーツ教育(体育)の内容構成演習ほか



客員教授 **木原資裕** KIHARA Motohiro  
専門分野：スポーツ社会学、武道論、剣道  
研究内容：スポーツ・武道の社会的展開、剣道授業の実践研究  
授業科目：健康・スポーツ教育(体育)の学習指導と授業デザイン



客員教授 **綿引勝美** WATAHIKI Katsumi  
専門分野：体育哲学、スポーツ哲学  
研究内容：ドイツのジュニアトレーニング  
授業科目：健康・スポーツ教育の基礎演習、健康・スポーツ教育(体育)の学習指導と授業デザイン

## 共におもしろい体育を探究しよう

### 令和の教育課題に対応するための実践的なカリキュラム

2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿として「個別最適な学び」と「協働的な学び」が掲げられています。これらは従前から学校が担ってきた「個に応じた指導」を学習者の視点から整理した概念です。本コースでは演習やフィールドワークを通して、教師と学習者の両方の視点から体育科・保健体育科の学びを構築する力を養い、次世代を生きるすべての人が健康に生きる社会づくりに貢献することを目指しています。

### 理論と実践を両輪として駆動できる保健体育科教員

保健体育の教科内容には、保健と体育を理解する方法としての学問的側面と、それらを学習やスポーツの場面で活用し、パフォーマンスを発揮するための実践的側面が含まれています。これらを理解し、その組み合わせの妙を生かした効果的な指導と評価ができる教員を養成します。

### 地域・社会貢献と並行した力量形成

附属学校との共同研究や高大連携協定校への講師派遣だけでなく、各種学会・研究会、教育委員会、スポーツ協会等の体育・スポーツの組織と連携した活動にも参画できます。このような社会活動に関与することも、教職大学院での研究活動の醍醐味です。外部組織との連携を通して、自らが果たすことのできる役割や適性などを知り、将来の歩むべき確かな道を見出せます。



# 教育探究総合コース

コース  
HP



## みんなつなげて考える

教育について大学院でしかできない「研究」と現場でしかできない「実践」を「総合」し「探究」します

教育探究総合コースは、実践とのほどよい距離を大切にしながら「現代」の「学び」や「教育課題」を「総合」的に考える場として2001年に設置された全国でも初めてのユニークな修士課程「現代教育課題総合コース」の系譜を引いています。教育は多面体。「教育探究総合コース」では、「学校」や「教室」、「時間割」、「指導要領」などの枠だけに

とられることなく、学校を取り巻く多様な環境の実態を見つめ直し、自由にそしてのびやかに「研究」と「実践」との間でつないで、教師と子どもとともに学んで行く教育をめざします。

全てのステークホルダーとして「包括」され「参画」していく教育を目指します

全ての人がステークホルダーとして「包括」され「参画」していく教育。コースの所属教員、学校現場で活躍中の現職教員、これから教員免許を新たに取得してこれから学

校の先生になろうとしている学生、そして「実践」だけではなく「研究」にも興味を持っている人、みんなで。学んでなんだろう、という大きな問いにも思いを馳せながら…。

「研究」や「実践」のテーマを決めるのはあなた。そう、だからここでなら、きっと君も夢を語る事ができるはず！

現職教員の方は学校外での実習も可能です

現職教員は2年次実習(30日以上)の際、学校以外の施設・機関等での実習を大幅に含めることができる本学唯一のコースです。

教科を選べと言われても困る  
—— うん、わかるわかる！

20年後の学校って？  
—— 君のイメージを聞いてみたいな！

教育ってなんだろう？  
—— 正解なんてないからおもしろい！

遊び、学び、生活、学科…  
—— みんなつなげて考えよう！

毎朝行きたくなるクラスを作りたい  
—— 大切なことです！

ESDって、よくわかんない  
—— 一緒に研究してみようか！

生きるってつらいよね  
—— その思い、教育に活かせるよ！

先生だけが偉いんじゃないっ！  
—— よし、そのファイト！

## 教育探究総合コース コンセプト図



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 **金野誠志** KANO Seishi  
専門分野：文化教育論、価値観形成、シティズンシップ教育  
研究内容：文化が有する多面的な価値を伝え合い国際社会への参画意識を高める授業の開発  
授業科目：国際理解の教育的探究、国際理解の教育総合デザイン、学校支援のための教育総合実践演習 I



教授 **坂本有芳** SAKAMOTO Yuka [兼任教員]  
専門分野：生活経営学、消費者教育  
研究内容：消費生活のデジタル化の影響、持続可能な消費の実践や行動変容に関する実証的研究  
授業科目：消費と生活の教育的探究



特命教授 **胸組虎胤** MUNEGUMI Toratane  
専門分野：STEAM教育と教科横断、理科教育、化学進化と生命の起源  
研究内容：①地球型生命体を構成するタンパク質アミノ酸がL型片手構造になった過程を化学的に研究 ②STEAM教育と教科内容との関係を理論的、実践的に研究  
授業科目：STEAMと教科横断の教育的探究、STEAMと教科横断の授業デザイン



准教授 **谷村千絵** TANIMURA Chie  
専門分野：教育哲学、防災教育  
研究内容：協働的思考の防災、フェーズフリー、哲学対話、批判的実在論  
授業科目：学校防災の教育総合デザイン、哲学と対話の教育的探究



准教授 **田村和之** TAMURA Kazuyuki  
専門分野：環境教育/ESD、国際教育協力(理数科分野)、天文学  
研究内容：環境教育、グローバルLESSONスタディなど  
授業科目：環境と人間の教育的探究、環境と人間の教育総合デザインなど



# 特別支援教育コース

コース  
HP



分野等 ●通常の学校における特別支援分野 ●特別支援学校分野



## 多様な子どもたちの一人一人のニーズに応え、「生きる力」を育む

本コースは、2つの分野から構成されます。

### 通常の学校における特別支援分野

幼稚園(こども園)・小学校・中学校・高等学校では、発達障がいのある子どもたちを含め、実に多様な子どもたちが在籍しています。本分野では、通常の学校、つまり通常の学級、通級による指導、特別支援学級における子どもたちの発達の多様性への理解に必要な知識と、その子どもたちのニーズに応えることのできる支援の在り方について深く学ぶことができます。主に幼稚園(こども園)・小学校・中学校・高等学校での特別支

援教育やインクルーシブ教育を推進できる教員や、特別支援教育コーディネーターなどの校内の特別支援教育のリーダー的存在として活躍する教員の養成を目指します。

### 特別支援学校分野

特別支援教育に期待される役割は、より複雑化・多様化する社会状況とともに高まっていると感じています。本分野では、特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの心身の発達や障がいの理解を深めるとともに、子どもの育ちや自立・社会参加に向けた適切な指導や必要な支援について学ぶことが

できます。そして、特別支援学校の<教員養成>と<リーダー養成>を目指します。

#### <教員養成>

特別支援学校の教員を志望する学卒者や社会人の方を対象に、現職教員との学び合いの中で、確かな実践力と豊かな人間性を備えた新入教員の養成を目指します。

#### <リーダー養成>

特別支援学校のミドルリーダー・巡回相談員等、校内外の特別支援教育のリーダー的存在となる、高度な教育実践力と実践的研究能力をもつ専門性の高い教員の養成を目指します。

「特別支援教育コース」は、特別支援教育に関する高度な教育実践力と実践的研究能力をもつ指導者育成を目的とするコースです。特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの心身の発達や障がいの理解を深めるとともに、子どもの育ちや自立・社会参加に向けた適切な指導や必要な支援を追求し、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校など幅広い校種における高度な教育実践力と実践的研究能力をもつ指導者育成に努めています。

これらの実現のために、特別支援教育コースでは、教育学・心理学・医学の理論的学習を融合させ、フィールドワークを基底におき、本学の発達臨床センターとも連携しつつ、特別支援教育実践と特別支援教育に関わる教育現場を特別支援教育の側面からリードする教育実践力や特別支援教育コーディネーターとして、学校・地域をまとめ牽引する実践力を高めるための魅力ある教育内容を準備しています。特に1年次は、附属特別支援学校での継続的なフィールド

ワークを通して、大学教員と附属学校教員双方から、特別支援教育の基礎を学ぶことができるユニークなカリキュラムとなっています。

また、令和6年度から、より複雑化・多様化する社会状況に応じつつ、特別な支援を必要とする全ての子どものために、「生きる力」を育むことのできる指導者育成を目指し、新たに通常の学校における特別支援分野と特別支援学校分野を設定し、さらなる大学院教育の充実を目指しています。

担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 伊藤弘道 ITO Hiromichi

専門分野：発達支援医学  
研究内容：主に発達障害児に関することについて  
授業科目：特別支援教育における医療・教育の連携Bなど



教授 大谷博俊 OTANI Hiroto

専門分野：特別支援教育ニーズ支援(教育学)  
研究内容：知的障害教育における職業教育・進路指導・キャリア教育や授業改善に関する研究  
授業科目：特別支援教育におけるキャリア教育・進路指導デザインA, 特別支援教育におけるキャリア教育・進路指導デザインBなど



教授 小倉正義 OGURA Masayoshi

専門分野：発達臨床心理学  
研究内容：発達障がい児者への心理教育、発達障がい児者やその家族のメンタルヘルスと支援、学校・家庭・地域の連携など  
授業科目：特別支援教育における医療・教育の連携A, 特別支援教育 心理学・教育学の連携Bなど



教授 高橋眞琴 TAKAHASHI Makoto

専門分野：特別支援教育学  
研究内容：特別支援教育関係の国内外の教育制度、教育課程、自立活動、地域連携に基づく発達支援  
授業科目：特別支援教育の基礎理論、教育課程、指導法に関連する科目



准教授 岩寄伸浩 IWASAKI Nobuhiro

専門分野：特別支援教育  
研究内容：知的障がい特別支援学校における教育課程・授業作り、障がいのある幼児・児童・生徒を対象にした保育・教育相談  
授業科目：総合インターンシップ(特別支援教育), 教職協働実践演習(特別支援), 教職基礎力開発演習など



准教授 岡綾子 OKA Ayako

専門分野：障害児心理学  
研究内容：自閉スペクトラム症児の社会的相互交渉  
授業科目：今日的な特別支援教育の課題とその対応など



准教授 高原光恵 TAKAHARA Mitsue

専門分野：特別支援心理学, 感覚・知覚心理学  
研究内容：視覚知, 不安評価など  
授業科目：特別支援教育における心理行動支援 A・Bなど



# 幼児教育コース

コース  
HP



## 幼児教育に新たな潮流を!!

附属幼稚園をフィールドとした最先端の保育を学ぶことができます

幼児教育コースでは、令和4年度からカリキュラムを一新。附属幼稚園をフィールドとした授業を中心として、子どものウェルビーイング、幼児期の非認知能力・社会情動的スキル、マネジメントやリーダーシップ、幼小連携・接続、園内研修・実践研究の方法、ICT等コミュニケーションツールの活用、子育て支援や家庭教育などを学ぶカリキュラムを構成しています。

豊富な実習を通して、保育実践力と保育研究能力を高めることができます

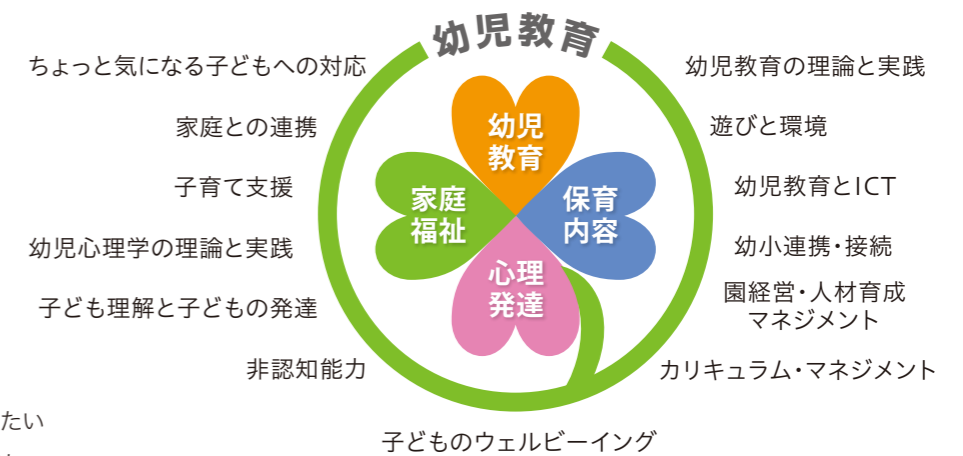
保育者や小学校教員などを志望する学部卒や社会人の方は、附属幼稚園等での基礎インターンシップ、総合インターンシップを通して、高度な保育の実践力と研究能力を高めることができます。現職の方は、学校課題フィールドワークなどを通して、自園の保育・教育課題や関心テーマに基づいて保育実践研究を深めていきます。

保育現場で働きながらオンラインで学ぶことができます

園長、副園長、主任などのマネージャーやミドルリーダーの方は、遠隔教育プログラムを受講することができます。現場で働きながらインターネットを用いた遠隔教育システムによって、全国の先生とつながり、共に学ぶことができます。また夏休みなどを利用して附属幼稚園の保育に参加したり、行事に参加したりすることもできます。



- ★ 園運営や人材育成について学びたい
- ★ 保育の質を向上させたい
- ★ 保育実践力をもっと高めたい
- ★ 幼小連携・接続について学びたい
- ★ 気になる子どもや保護者への対応を学びたい
- ★ 家庭との連携や子育て支援について学びたい
- ★ これから幼稚園教員や小学校教員を目指したい



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 佐々木晃 SASAKI Akira

専門分野：幼児教育学、保育実践学  
研究内容：遊誘財、幼小接続・連携、幼児の非認知能力、カリキュラム作成とマネジメント  
授業科目：幼児教育マネジメント、園の組織マネジメントなど



教授 塩路晶子 SHIOJI Akiko

専門分野：保育内容、教育方法学  
研究内容：アメリカの進歩主義教育の教育実践史、教師教育の歴史の研究など  
授業科目：小学校への接続・連携を見通した幼児教育など



教授 田村隆宏 TAMURA Takahiro

専門分野：幼児心理学、発達心理学  
研究内容：幼児の言葉の獲得過程、レジリエンスの研究など  
授業科目：乳幼児期から児童期の発達心理と保育、幼児期から児童期の子どもの発達と支援など



教授 湯地宏樹 YUJI Hiroki

専門分野：幼児教育学、子ども社会学  
研究内容：保育バランス論、スマートフォン/タブレットに関する研究など  
授業科目：幼児教育におけるICTの活用など



特命教授 木下光二 KINOSHITA Mitsuji  
[兼任教員]

専門分野：幼児教育実践、小学校教育実践  
研究内容：保育の質向上、幼小の連携や接続、架け橋期の活動やカリキュラム作成の研究など  
授業科目：小学校への接続・連携を見通した幼児教育など



准教授 垂髪あかり UNAI Akari

専門分野：教育学、重症児教育学  
研究内容：発達保障、重症心身障害児療育・教育、医療保育  
授業科目：インクルーシブ保育の理論と実践など



准教授 木村直子 KIMURA Naoko

専門分野：子ども家庭福祉学  
研究内容：子どものウェルビーイング研究、子育て支援、特別な配慮を要する子どもや家族への支援など  
授業科目：子ども家族支援の実際と課題、家庭教育支援演習など



# 学校づくりマネジメントコース

コース HP



分野等 ●学校リーダー養成分野 ●ミドルリーダー養成分野 ●カリキュラム・マネジメント分野 ●地域学校協働分野



## 「児童生徒を幸せにする学校づくり」を実現する

### 実践に根ざしたマネジメント理論を学ぶとともに、実習を通して実践力を高めます

本コースには①学校リーダー養成分野、②ミドルリーダー養成分野、③カリキュラム・マネジメント分野、④地域学校協働分野が含まれています。今学校の内外には複雑化・多様化した課題が山積しています。それらを解決し、子どもたちに必要な資質・能力を育ていく「チームとしての学校」が必要です。そのためには、教職員一人一人がリーダーシップを発揮し、学校のマネジメント

を強化して「チーム学校」になると必要です。そのためには、教職員の組織化を促し、課題解決に導いたり、危機に対応したりできる能力が求められます。

### 子どもの幸せに繋がる実践力を高めるために、コースの教員が組織的にサポートします

「マネジメント」という言葉を広めたのは、P.ドラッカーだといわれています。彼はマネジメントの目的は、「関わる人を幸せにすること」と言っています。お互いが、自分たちの

価値を育み高めあい、人を幸せにすることといえます。といってもマネジメントはそう簡単にできるものではありません。

本コースでは、学校や家庭・地域を含め教育に関わるすべての人を「幸せにする」マネジメントを、組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、地域連携等の理論のもとに、いろんな経験値を持った現職教育院生の方々と考えていきたいと思っています。

そして、その中で磨かれたリーダーシップを発揮しながら「児童生徒を幸せにする学校づくり」をしてみませんか。



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 久我直人 KUGA Naoto

専門分野：学校経営実践論, 学級経営実践論  
研究内容：子どもの意識と行動の構造の可視化, 効果のある学級・学校づくり  
授業科目：学校組織マネジメントの理論と実践, 学校ビジョンの構築と教職員の組織化など



教授 葛上秀文 KUZUKAMI Hidefumi

専門分野：教育社会学, 教師教育  
研究内容：学力問題, 教師の専門性向上  
授業科目：教職協働実践演習



教授 藤田 完 FUJITA Mataka

専門分野：特別活動, 生徒指導  
研究内容：学校マネジメント, 人材育成  
授業科目：チーム総合演習, 教職協働実践演習 I・II など



特命教授 阪根健二 SAKANE Kenji

専門分野：学校危機管理  
研究内容：学校危機管理, 社会的リテラシー  
授業科目：学校危機管理の実践など



特命教授 藤井伊佐子 FUJII Isako

専門分野：地域の核となる学校づくり, チーム学校  
研究内容：教育行政, 政策, 法・制度に位置づいた学校のあり方  
授業科目：地域の教育課題と教育行政の実務など



准教授 大林正史 OBAYASHI Masafumi

専門分野：教育経営学, 教育行政学  
研究内容：家庭, 地域, 学校の連携, 学校運営協議会のマネジメント, 児童生徒による地域での課題解決学習, 学校改善に関する研究など  
授業科目：家庭・地域・学校の連携構築, 学校組織マネジメントの理論と実践など



准教授 芝山明義 SHIBAYAMA Akiyoshi

専門分野：教育社会学, 教育経営論  
研究内容：教師教育, 人権教育, 教育・学習環境  
授業科目：教職員の人材育成と校内研修など



准教授 田中義人 TANAKA Yoshihito

専門分野：教育経営学  
研究内容：学校経営, 地域・社会連携  
授業科目：教育課題フィールドワーク, 教育実践研究 I・II, カリキュラムマネジメントの理論と実践など



特任教授・チーフコーディネーター  
竹内 敏 TAKEUCHI Satoshi

専門分野：教育行政, 学校経営  
研究内容：教育施策, 学校運営, 人材育成  
授業科目：地域の教育課題と教育行政の実務など



客員教授 村川雅弘 MURAKAWA Masahiro

専門分野：教育工学  
研究内容：カリキュラム・マネジメント, 総合的な学習の時間  
授業科目：学校におけるカリキュラムマネジメントの推進, ワークショップ型研修の技法など



# 生徒指導コース

コース  
HP



## 子供をサポートできる教員になる

### 生徒指導の力を備えた高度専門職業人を育成します

- ・ 苦戦している子供たちをサポートすることができる先生
- ・ チーム支援をコーディネートできる先生
- ・ 機能する生徒指導体制を構築できる先生
- ・ 不登校やいじめ防止に強い先生

生徒指導コースでは、生徒指導を児童生徒が社会の中で自分らしく生きることができ、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動として捉え、この教育活動に役立つ知見を広げ、実践力を培い、

学校現場での生徒指導をリードする先生や管理職、行政職を目指す人材育成を行っています。そのために生徒指導、教育相談をはじめ、道徳教育、特別活動、学級経営、学校保健などの近接分野についても学ぶ機会を設けています。それぞれの課題に対する実践研究を通して専門性を深めることにより、高度専門職業人に相応しい教育実践力の向上を目指しています。

### ミドルリーダー、学校管理職、教育行政職を目指す先生のキャリア支援を行います

- ・ 生徒指導をリードする先生
- ・ 生徒指導を充実させた学校経営を目指す管理職
- ・ 生徒指導の施策を共創できる行政職

高度な専門を備えた管理職、行政職を目指す先生のキャリア支援を行います。学修にあたっては、生徒指導学、学校教育相談学、臨床心理学、学校心理学、教育学、道徳性心理学、進化心理学などを基盤として、いじめや不登校の防止、通常学級における特別な支援、児童・生徒・教職員のメンタルヘルスの向上、チーム支援とコーディネーションなどに寄与する実践研究に取り組みます。

### 勤務しながら生徒指導を究めたい!

#### 【教職大学院遠隔教育プログラム】

現職教員が対象で、オンライン授業やスクーリング授業を中心に、勤務しながら学ぶプログラムです。

勤務における教育活動のリフレクションを通じた実践研究により、生徒指導力を高度化することができます。担当する指導教員と学修時間や研究内容について相談しながら進めていきます。なお、標準修業年限は2年ですが、長期履修学生制度を利用することで3～5年を選択でき、また、授業料を修業年限に応じて分割納入できるなど、勤務に支障なく無理なく学修できます。

### 学校心理士の資格を取得できます!

学校心理士(学校心理士認定運営機構)の資格取得をサポートします。

学校心理学に関する授業科目、実習におけるスーパーバイズやケースレポートなど、資格の取得を希望する大学院生は、大学教員が開講するセミナーを受けたり、個別に相談や指導・助言を受けられます。

《2023年度の資格取得者4名》

担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 池田誠喜 IKEDA Seiki

専門分野：生徒指導, 学校教育相談, 学校心理学  
研究内容：レジリエンス, スクール・エンゲージメント, チーム支援とコーディネート  
授業科目：生徒指導の理論と実践, 学校心理学, 学級経営の理論と実践, 生徒指導の理論と実践など



教授 小坂浩嗣 KOSAKA Hirotsugu

専門分野：臨床心理学, 教育相談, 生徒指導  
研究内容：不登校・いじめなどへの心理臨床的アプローチ, 発達支援的生徒指導  
授業科目：教育相談の理論と実践, 生徒指導事例検討など



准教授 岡田康孝 OKADA Yasutaka

専門分野：生徒指導  
研究内容：道徳教育・特別活動の相補的往還的關係  
授業科目：道徳教育と特別活動の理論と実践, 教職協働実践演習Ⅰ・Ⅱなど



名誉教授・客員教授 阿形恒秀 AGATA Tsunehide

専門分野：臨床教育学  
研究内容：教師の児童生徒理解と支援, 不登校・いじめ・問題行動  
授業科目：生徒指導の理論と実践, いじめ・不登校防止の理論と実践など



# 学習指導力・ICT教育実践力開発コース

コース  
HP



分野等 ●カリキュラム開発分野 ●教育評価開発分野 ●アクティブラーニング開発分野 ●授業開発分野



## これからの社会を支える 児童生徒を育てる教員になる

### 高度な授業実践力・開発力を もった教師を育てます

学習指導要領で求められる「個別最適・協働的な学び」「主体的・対話的で深い学び」を実現するための、教育方法の開発・改善に加えて、教科等横断的な資質・能力育成に向けた確かな授業実践力・開発力を有する教師の育成を目指します。そのために、本コースでは、教科教育、教科の枠を超えた教育の授業設計、授業実践、教育評価などについて、理論的・実証的研究を行います。

### ICTを活用した学校教育の 未来を創る教員を育てます

GIGAスクール構想によって配備された1人1台端末を活用し、児童生徒の資質・能力を育成するために、ICTを活用した学校教育の可能性や課題についての考察力や知識・技能を持ち、ICTを活用した教育を実践できる教師の育成を目指します。

教師は「授業で勝負する」と言われ続けています。ご自身の実践経験を省察して課題を発見し、先行理論や先行実践を収集・

分析しながら実践仮説を設定し、課題解決のための手立てを考えていきましょう。本コースでは以下のような先生方のキャリア形成をサポートします。

- ・自らの学習指導のあり方に課題を見出し、学習指導力を向上させようとしている先生
- ・中堅教員として学習指導をリードされている先生
- ・学習指導と生徒指導を充実させた学級経営を念頭に管理職を目指されている先生

### 【専門科目の例】

- 学習者の心理とアクティブラーニング
- 校種間連携に視座した教材教具の演習
- 教育評価の実際と事例分析
- 教科・研究主任の力量形成
- 総合的な学習の時間のカリキュラム開発
- ワークショップ型研修の技法
- 学校教育におけるICT活用と情報デザイン
- 1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 藤原伸彦 FUJIHARA Nobuhiko

専門分野：認知心理学, 教育工学  
研究内容：ICT活用, プログラミング教育  
授業科目：学校教育におけるICT活用と情報デザイン, 学習指導要領と教育課程A・Bなど



特命教授 藤村裕一 FUJIMURA Yuichi

専門分野：教育工学, 教育方法学, 情報教育  
研究内容：授業設計, ICT活用  
授業科目：Society5.0に向けた教育の情報化・情報教育, 1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善など



特命教授 皆川直凡 MINAGAWA Naohiro

専門分野：教育認知心理学, 学習科学, 教育実践学  
研究内容：学習意欲の向上, 学び方の改善, メタ認知能力の育成, 対話型授業, 真正の評価  
授業科目：教育評価の実際と事例分析, 学習者の心理とアクティブラーニングなど



准教授 竹口幸志 TAKEGUCHI Koji

専門分野：社会情報学, 教育実践学  
研究内容：情報教育, 情報モラル教育  
授業科目：1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善など



准教授 阪東哲也 BANDO Tetsuya [兼任教員]

専門分野：情報教育, 教育工学  
研究内容：情報活用能力の育成, 小学校プログラミング教育, ICT活用  
授業科目：授業の理論と実践など



講師 石川勝彦 ISHIKAWA Katsuhiko

専門分野：教育心理学  
研究内容：教育評価, 道徳心理と社会性の関連性, 援助要請, 学生アスリート支援  
授業科目：教育課題探求, 幼児・学校教育リフレクション, 教職協働実践演習I-IIなど



講師 長井映雄 NAGAI Akio

専門分野：情報教育  
研究内容：中学校技術教育, 高等学校情報教育  
授業科目：1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善, 教職協働実践演習I-IIなど



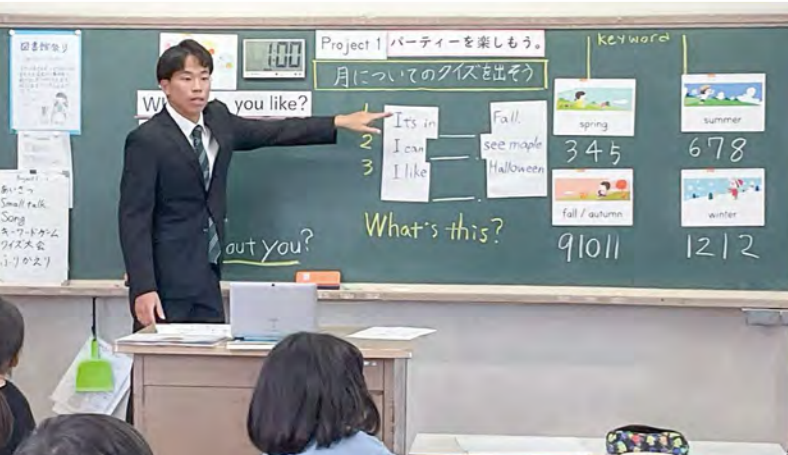
客員教授 西村公孝 NISHIMURA Kimitaka

専門分野：教科教育学  
研究内容：生活科, 社会科, 公民科, 総合的な学習の時間のカリキュラム開発  
授業科目：教科・研究主任の力量形成, 校種間連携に視座した教材・教具の開発演習など



# 教員養成特別コース

コース HP



## じんわり「こども」がみえてくる

### インターンシップ(実習)で実践力をつける

本コースは、小学校教員を志望する学卒者や社会人を対象に、意欲的で、高い実践力をもつ新人教員の養成を目指しています。教職大学院の中でも本コースは、インターンシップ(実習)の期間を長く設定しており、その経験を軸に、教員として必要な力量を高めることを特徴としています。特に、2年次の実習では、4~5月及び夏休み明け~11月にわたって、週2日ないし3日、同じ小学校で長期間の実習を行いますので、配属学級での学級開きに続き、日を追って学級がまとまっていく様子を目の当たりにしたり、継続的に子どもたちの成長に携わり、

その変容をみとったりすることが可能になります。このような実習での経験を通して、授業を構成・展開・省察する力、多様な子どもの実態を理解し、適切に対応する力、学級集団を形成・運営する力、先輩・同僚教員と協働する力など、教育現場で必要な力を総合的に身につけることができます。

### インターンシップ(実習)に連動した授業科目で実践力を高める

本コースで開設している他の授業科目も実習と連動したものが多く、チームごとに授業を設計して互いに模擬授業を行う、学校での授業観察をもとにディスカッションする、自分の理想とする学級経営のプランを立てる、実習で出会った子どもの事例検討

を行うなど、実践と強く結びついた内容となっています。

### 教員採用試験に合格して実践力のある教師になる

本コースはコースを挙げて教員採用試験対策に取り組んでおり、教師になりたいという強い志をもつ人を全面的にバックアップする体制が整っています。本コースの所属教員は、実務家教員(教職経験や教育委員会の勤務経験がある者)と研究者教員がおよそ半数ずつを占め、それぞれのもち味を生かしながら協働して教育活動にあたっています。各教員による個別ゼミに加え、たびたび合同ゼミの機会も設け、模擬授業や教採対策などを実施しています。

### 大学院1年次の授業「学級経営実践演習A」における風景



——— 理想の学級像についてグループで考えている

院生A:「いろいろ出たけど、やっぱり居心地の良い学級がいいんじゃない」

院生B:「小学校6年生のとき、自分の学級は居心地が良くなかったので学校に行くのが少し嫌だったことがあるから、大事やと思う。」

——— みんな賛成の様子

教員:「居心地が良いって具体的にはどういう状態? 例えば、自分の部屋は居心地が良いよね。学級の居心地の良さもそれと同じ?」

院生C:「うーん、それは違う気がする。学級の居心地の良さって何?」

——— 「つづき」は教員養成特別コースで!!



担当教員紹介 (2024年4月1日現在)



教授 生田雅和 IKUTA Masakazu

専門分野: 小学校教育実践, 教育実践学  
研究内容: 地域における教育課題探求, 教育施策・教育法規  
授業科目: 教職基礎力開発演習I-II, 生徒指導実践演習A・Bなど



教授 江川克弘 EGAWA Katsuhiko

専門分野: 教授学習心理学, 教育実践学  
研究内容: 模倣による学習(特に作文学習), 読書離れ改善に対する取り組み  
授業科目: 学級経営実践演習A・B, 教職協働実践演習I-IIなど



教授 川上綾子 KAWAKAMI Ayako

専門分野: 教育工学, 認知心理学  
研究内容: 学習者の認知に基づく授業設計, 教師教育・教員養成に関する研究など  
授業科目: 教育実践の事例研究など



特命教授 木下光二 KINOSHITA Mitsuji

専門分野: 幼児教育実践, 小学校教育実践  
研究内容: 遊びや保育の質向上に関する研究, 幼小の接続及び架け橋期の活動やカリキュラム作成等の研究  
授業科目: 教育実践の事例研究, 教職協働実践演習I-II, 総合インターンシップなど



准教授 馬場大樹 BABA Hiroki

専門分野: 教育方法学, 社会科教育  
研究内容: 子どもの政治的主体性を育てる社会科授業, ICT教材と教師の志向性との関係性など  
授業科目: 教育方法学, 社会科教育



講師 秋田泰宏 AKITA Yasuhiro

専門分野: 小学校授業・学級経営実践, 教育技術・技能論  
研究内容: 教育の方法と技術・技能に関する研究  
授業科目: 教職基礎力開発演習I-II, 教育実践研究I-IIなど



講師 松浦昌宏 MATSUURA Masahiro

専門分野: 小学校教育実践  
研究内容: 互恵的, 対話的な学びを促進する授業設計, 洞察力, 判断力, 実践力を高める人権教育など  
授業科目: 学級経営実践演習A・B, 教職基礎力開発演習I-IIなど



教職大学院支援アドバイザー 賀川隆博 KAGAWA Takahiro

専門分野: 小学校教育実践  
研究内容: 小学校理科における効果的な授業方法についての研究  
授業科目: 教職基礎力開発演習I-IIなど



教職大学院支援アドバイザー 端村達也 HASHIMURA Tatsuya

専門分野: 小学校教育実践  
研究内容: CSを活用した学校運営, 見方・考え方を働かせ自分の考えを深める指導法の工夫(体育科教育)  
授業科目: 教職協働実践演習, 教職基礎力開発演習I-II



# 鳴門教育大学大学院に期待するもの



徳島県教育委員会  
教育長  
**榎 浩一さん**

世界は今、エネルギー分野における脱炭素化や量子コンピュータ開発によるシミュレーション技術革新など、持続可能な社会を創り出そうとしています。また、急速に進むDXへの対応など社会が大きく変化する中で、徳島県では個性と国際性に富み、夢と志あふれる人材の育成を目指しています。これを実現するには、教師が生涯にわたって学び続けることが重要であり、その姿勢は自身の力量形成に留まらず、児童生徒の学びに有形無形の効果をもたらすものと考えています。

鳴門教育大学大学院においては、教師教育のトップランナーとして教育現場のニーズに合った課題解決に貢献するとともに、人間性あふれる志のある教師の育成を図っていただいております。大学院生として学ぶ皆さんには、充実した研究環境の下で自身の資質能力をより一層磨き、本県における教育の先導者として活躍していただくことを期待しています。



愛媛県教育委員会  
教育長  
**田所 竜二さん**

愛媛県では教育の振興を通じ、優れた人格と能力を兼ね備えた有為な人材を輩出することはもとより、その教育力の高さをもって、全国の人や企業から評価され選ばれるような「教育で身を立てる県」となるべく「教育立県えひめ」の実現を目指しています。

そのため、愛媛の将来を担う子どもたちのために、国際教育や情報教育、STEAM教育等の充実を図り、デジタル技術を活用しながら質の高い教育を提供するなど、夢の実現に資する魅力的な教育環境を提供するとともに、全ての子どもたちが安心して学べる環境づくりに取り組んでいます。

鳴門教育大学大学院には、新たな学びを展開する実践的指導力と社会の変化や学校現場のニーズに対応できる、優れた資質・能力を兼ね備えた本県教育の中核となる教員の育成へのお力添えをお願いするとともに、貴学の益々のご発展を祈念いたします。



香川県教育委員会  
教育長  
**淀谷 圭三郎さん**

学校という舞台の主人公は子ども。登場人物は子どもと先生。子どもと先生の両者が、笑顔あふれる学校環境の中で生活できなければ、日々の教育実践が意味をなさないと考えます。

子どもたちが夢や志を持って生きていくためには、その心身を支える基盤をしっかり育成することが重要であり、教員には、教育に対する使命感や情熱はもとより、多様な課題に適切に対応できる、より高度な専門性と豊かな人間性・社会性が求められています。幅広い教育課題に対応し、新しい教科実践の在り方を創造する教員の養成を目的とした、鳴門教育大学大学院の専門職学位課程で学んだ教員が、学校現場や教育行政で中核となって活躍し、本県全体の教育力の向上につながるものと期待しております。

今後とも、学校運営の中核を担う教員の育成にお力添えいただくことをお願い申し上げますとともに、貴学の益々のご発展を祈念いたします。



高知県教育委員会  
教育長  
**長岡 幹泰さん**

昨今、生成AIが急速に発展し、一見「人のように」答えを出すような技術が当たり前になりつつある流れがあります。

そのような流れだからこそ、子どもたちに将来必要な「人ならではの」力を、どのように育成するかを考え、そして実行に移すことが、教員の果たす役割として求められています。その役割を果たすためにも重要となるのが教員の「学びの転換」です。

この「学びの転換」を鳴門教育大学大学院における探究的な学びを通して体感し、教科の専門性や実践的指導力を高めた本県の教員が、日々学び続け、研究成果を実践や学校・県全体に還元させ、中核教員として活躍することを大いに期待しております。

今後とも、本県の教育課題解決に向けた取組の中核となる教員の育成にお力添えいただけるようお願いするとともに、貴学の益々のご発展を祈念いたします。

2024(令和6)年3月1日現在

## 附属学校

本学は、教員教育のための実践校として、また、大学の理論と教育実践を基盤とした最先端の研究を行う実験校として、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校及び附属特別支援学校を設置しています。

常に大学と一体となって、大学の学部・大学院や文部科学省等関係機関と密接な連携を図り、特色ある教育及び研究を組織的に展開しています。さらに、そこで得られた成果は、徳島県の学校教育界に還元し、常に地域の教育実践研究の中心的、先導的な役割を果たすよう努めています。

併せて、幼児の心身の発達を助長する保育、児童、生徒の心身の

発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうちの基礎的な教育、及び小学校における教育の基礎の上に義務教育として行われる普通教育、並びに知的障害や自閉症の児童・生徒に対する小学校、中学校、高等学校に準ずる教育及び自立を図るために必要な知識技能を習得させる実習等を実施しています。

附属学校は、大学のある鳴門市の高島キャンパスから20キロほど離れた徳島市内に位置しています。南前川町に附属幼稚園及び附属小学校、中吉野町に附属中学校、上吉野町に附属特別支援学校があります。



## 教育実践教授

2024(令和6)年3月1日現在

平成30年度から教育実践教員制度を設け、教育・研究活動の活性化及び高度化を図るため、附属学校園長が実習や教育・研究指導にあたっています。



附属幼稚園長  
**勝浦 千晶**  
KATSUURA Chiaki



附属小学校長  
**若井 ゆかり**  
WAKAI Yukari



附属中学校長  
**大泉 計**  
OIZUMI Kei



附属特別支援学校長  
**寺内 壽**  
TERAUCHI Hisashi



# 附属教育研究施設・国際交流

<https://www.naruto-u.ac.jp/schools/index2.html>

詳しくはこちら▶



小学校英語教育センター

地域連携センター

教育実習総合支援センター

独立行政法人教職員支援機構・  
四国地域教職アライアンス  
鳴門教育大学センター

長期履修学生支援センター

教育実習総合支援センターは、実地教育部門、教職大学院(教科・総合系)実習部門、教職大学院(教職系)実習部門、N-CBT部門から成り、実習に係る事前・事後指導など学生への教育実習等の支援を業務とするセンターです。

実地教育部門では、大学院生も含めた教員免許状の取得を目指す全ての学生に、附属校園や協力校園での教育実習や、社会福祉施設などでの介護等体験に関する支援を行います。

また、教職大学院(教科・総合系及び教職系)実習部門では、学校現場に赴き、観察実習や支援型実習を通じ、教職や教科等の領域における確かな専門性や実践力について、ワンランク上の力量を形成できるようサポートします。

そのほか、丁寧な指導助言を行うことで、実習等において学生が抱える問題の解決にも務めています。

アドバイザー [ 2024(令和6)年4月1日現在 ]



実地教育  
アドバイザー  
鈴江真弓



教職大学院(教科系)  
実習アドバイザー  
杉本恭介



教職大学院(教職系)  
実習アドバイザー  
賀川隆博



実地教育  
アドバイザー  
渡邊公規



教職大学院(教科系)  
実習アドバイザー  
角瀬公子



教職大学院(教職系)  
実習アドバイザー  
端村達也

長期履修学生支援センターは、資格取得プログラムまたは学校教員養成プログラムで進学してきた、長期履修学生に対する教育支援を業務とするセンターです。

長期履修学生は、本センターアドバイザーが入学直後の1年間担任となり、教員免許状を取得するための修学指導や実地教育(ふれあい実習、附属校園観察実習、主免教育実習)の支援を受けながら、学びを深めていきます。

また、教員となるために必要とされる基礎的な資質・能力を身につけられるよう、年間を通じて支援講座や支援演習を実施しており、個別の指導・相談も、きめ細やかにを行っています。

なお、本センターのアドバイザーは、公立小・中学校の校長や県教育委員会指導主事等を歴任された現場経験豊富な先生方で構成されています。

アドバイザー [ 2024(令和6)年4月1日現在 ]



アドバイザー  
中妻克裕



アドバイザー  
阿部孝弘



アドバイザー  
岡田志麻



アドバイザー  
北岡八千代



アドバイザー  
湊貴司



アドバイザー  
横島道彦

## いじめ防止支援機構

予防教育科学センター

生徒指導支援センター

発達臨床センター

心身健康センター

## 教員養成DX推進機構

セルフデザイン型  
学修支援センター

情報基盤センター

遠隔教育推進センター

## 教員教育国際協力センター

鳴門教育大学が培った豊富な国際協力経験を広く社会に還元することを目的に、開発途上国に適した国際教育協力の計画・実施・評価に係わる研究・開発を行い、国際的な視野を持った人材養成に関わる事業を行っています。

本センターは、理数科教育に関する協力事業についての研究・開発並びにその成果の共有・発信を行う「理数科教育協力研究」、教員養成に関する協力事業についての研究・開発並びにその成果の共有・発信を行う「人材養成協力研究」、国際教育協力現場で活躍

できる専門家、そして、国際教育協力経験等を学校現場に還元する教員を育成するため「グローバル教員養成プログラム開発」に取り組んでいます。

また、国際教育経験をもつ教員等のデータベース化を進め、それらの人材の経験を各地域で活かすための支援の在り方を議論するほか、地域の国際化ネットワークを創出するための国際教育オープンフォーラム等を実施しています。

## 大学間国際交流・連携締結大学 & JICA連携・協力国

International Partnership

本学は、北米、アジア、アフリカなどの地域において13大学と大学間交流協定(国際学術交流協定)を締結しているほか、JICAと連携協力推進に関する協定を締結し、62カ国1,000名を超える開発途上国の現職教員の研修を本学で実施するなど、国際的な教育・研究を推進しています。





# 附属図書館

附属図書館は、教科書、指導書、教育関係資料ほか約38万冊の資料を所蔵しています。利用者の学習・研究環境を充実させるため、平日は21時まで開館しており、土曜日、日曜日、祝日(学生休業期間を除く)も開館し、一般市民にも広く開放しています。

教育関係資料では、国語・教育学分野を中心とした図書(約2万5千冊)を集めた「野地潤家文庫」(野地元学長寄贈)及び著名な教育実践家であった大村はま寄贈の学習の記録、文献等(約1万冊)を集めた「大村はま文庫」があり、学内外の研究者の利用に供しています。

大学図書館では珍しい児童図書室は、学生・子ども・市民の交流の場として広く地域に開かれ、学生ボランティア等による子育て支

援活動が行われており、学生にとっては実地教育を通じた学びの場となっています。また、児童図書室内には英語絵本を集めたKids English Libraryを設置しています。

ラーニング・commons室は、アクティブ・ラーニングなどの新しい学びや、より実際に近い形で授業等が行えるスペースです。小学校の教室を再現した模擬授業エリアは、電子黒板を備えており、教員採用試験対策や模擬授業等に利用されています。

メディア・commonsは、視聴覚資料や英語学習資料が利用できるほか、個人・グループに関わらずメディア・情報機器を利用した学習等自由に利用できます。



児童図書室



メディア・commons

# 連合大学院

本学は、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学とともに兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)の構成大学となっています。

連合大学院は、学校教育実践学専攻、先端課題実践開発専攻、教科教育実践学専攻の3専攻からなり、入学定員は36人。令和5年5月現在の在学学生は180人で、うち32人が鳴門教育大学配属となっています。

# 大学間連携協力協定

本学は現在、以下の19大学と連携協定を結んでいます。

|      |  |
|------|--|
| 国立大学 | 徳島大学(徳島県)  |
| 公立大学 | 秋田公立美術大学(秋田県)、高知県立大学(高知県)<br>高知工科大学(高知県)、下関市立大学(山口県)   |
| 私立大学 | 追手門学院大学(大阪府)、大手前大学(兵庫県)<br>関西国際大学(兵庫県)、京都芸術大学(京都府)<br>京都産業大学(京都府)、京都文教大学(京都府)<br>近畿大学(大阪府)、甲南大学(兵庫県)<br>四国大学(徳島県)、聖徳大学(千葉県)<br>高松大学(香川県)、中部大学(愛知県)<br>花園大学(京都府)、比治山大学(広島県) |

(※国公立別、五十音順)

これらの大学とは、教育研究等分野における相互協力、文化・スポーツ面などでの相互交流のほか、学部卒業生の積極的な受け入れなどを進めています。

# 学生生活レポート



## 【入学科・授業料】

- 2024(令和6)年度入学者の納付金です。
- 在学中に、授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- 長期履修学生制度を活用する方の授業料は、2年分の授業料を修業年限(3~5年間)で分割納入します。

| 大学院(研究科) |              | 長期履修学生制度活用者<br>(修業年限3年の例) |              |              |
|----------|--------------|---------------------------|--------------|--------------|
| 入学料      | 282,000円(現行) | 入学料                       | 282,000円(現行) |              |
| 授業料      | 前期           | 267,900円(現行)              | 前期           | 178,600円(現行) |
|          | 後期           | 267,900円(現行)              | 後期           | 178,600円(現行) |

※お問い合わせは財務課まで

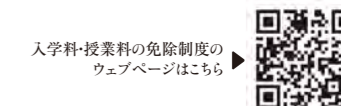
## 【入学科・授業料の免除制度】

入学料及び授業料の納付が困難な学生に対して、一定の条件の下に選考の上、納付を免除又は徴収猶予する制度を設けています。当該授業料免除については、より学びやすい環境としたいとの考えの下に、経済的支援を強化するため規程に定める額の免除を実施しています。また、本学独自の取組として以下の制度も設けていますので、詳細を以下のウェブページで参照してください。

- ・「大学院修学休業制度」利用者(現職教員)を対象とした授業料特別免除
- ・「教員採用候補者名簿登載期間延長制度」利用者を対象とした授業料特別免除
- ・卓越した学生に対する授業料免除
- ・激甚災害により被災された方を対象とした経済的支援措置

◎<https://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html>

※お問い合わせは学生課まで



入学料・授業料の免除制度のウェブページはこちら

## 【奨学金制度】

入学後に日本学生支援機構の貸与奨学金【第一種(無利子)、第二種(有利子)】を申し込むことができます。第一種は月額50,000円と88,000円、第二種は50,000円から150,000円までで5段階が設定されています(令和5年度実績)。奨学金の貸与には経済状態のほか様々な条件があります。貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、詳しくは日本学生支援機構・貸与奨学金のウェブページでご確認ください。

◎<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

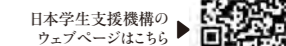
なお、日本学生支援機構以外にも地域の支援団体等からの奨学金があります。

◎<https://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/003.html>

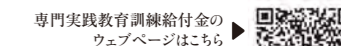
このほか、専門実践教育訓練給付金については、以下のウェブページを参照してください(担当:教務課)

◎[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/shokugyouounoryoku/career\\_formation/kyouiku/03\\_00004.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyouounoryoku/career_formation/kyouiku/03_00004.html)

※お問い合わせは学生課まで



日本学生支援機構のウェブページはこちら



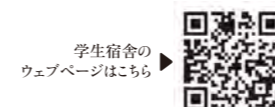
専門実践教育訓練給付金のウェブページはこちら

## 【学生宿舎】

学生宿舎は、通称「うずしお村」と呼ばれキャンパスの北西に位置し、単身棟5棟、世帯棟2棟が設置されています。

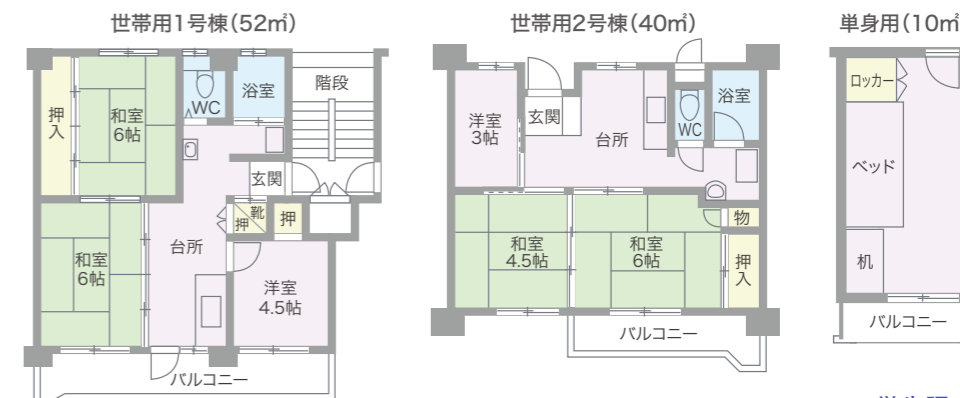
- 駐車場は無料です。
- 単身棟は、男子棟、女子棟があり、部屋は個室となっていますが、トイレ、浴室、洗濯室等は、共用です。

詳細については、以下のウェブページを参照してください。  
<https://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/02/007.html>



学生宿舎のウェブページはこちら

| 区分          | 棟数 | 様式       | 収容人数等 | 室面積 | 寄宿料(月額) |
|-------------|----|----------|-------|-----|---------|
| 単身用学生宿舎(男子) | 2  | 5階建1棟80室 | 160人  | 10㎡ | 4,300円  |
| 〃(女子)       | 3  | 5階建1棟80室 | 240人  | 10㎡ | 4,300円  |
| 世帯用学生宿舎     | 1  | 5階建1棟40戸 | 40戸   | 40㎡ | 9,500円  |
|             | 1  | 5階建1棟40戸 | 40戸   | 52㎡ | 11,900円 |



※お問い合わせは学生課まで



# 就職支援

全学的・組織的な取り組みで就職をサポート。

本学では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員養成に力をいれています。キャリア教育、就職支援の充実のため、就職支援室を設置しています。

就職支援室では、教員就職支援チーフアドバイザー、就職支援アドバイザー、就職支援室スタッフが、進路・就職等、在学中のキャリアアップサポートを行っています。

教職を希望する学生には、教員採用試験に向けて、学内説明会、教採対策ガイダンス、教採実技ガイダンス、教採模試、模擬授業、個人面接、模擬集団討論などを実施しています。

また、公務員や企業への就職を希望する学生向けには各種ガイダンスを用意しています。

## 就職状況

■2022(令和4)年度修了生の就職状況(学校教育研究科)

[2023(令和5)年9月30日現在]

| 区分                   | 修了者数 | 教員就職者  |        |       |     |        |              |                     |         |    |   | 教員以外の就職者 | 進学者    | その他   | 就職率 | 教員就職率<br>[進学者を除く] |
|----------------------|------|--------|--------|-------|-----|--------|--------------|---------------------|---------|----|---|----------|--------|-------|-----|-------------------|
|                      |      | 小学校    | 中学校    | 高等学校  | 幼稚園 | 特別支援学校 | 養護教諭<br>栄養教諭 | その他教員<br>(大学外国等)(A) | 小計      |    |   |          |        |       |     |                   |
| 修士課程                 | 68   | 3      | 2 (1)  | 0     | 0   | 0      | 1 (1)        | 3 (2)               | 9 (4)   | 30 | 6 | 23       | 66.2%  |       |     |                   |
| 修士課程<br>(長期履修学生:外数)  | 4    | 0      | 1      | 0     | 0   | 0      | 0            | 0                   | 1       | 1  | 0 | 2        | 50.0%  |       |     |                   |
| 教職大学院                | 26   | 4 (2)  | 13 (5) | 6 (3) | 0   | 1      | 0            | 0                   | 24 (10) | 2  | 0 | 0        | 100.0% | 92.3% |     |                   |
| 教職大学院<br>(長期履修学生:外数) | 39   | 18 (3) | 4 (2)  | 8 (5) | 0   | 4 (2)  | 0            | 1                   | 35 (12) | 2  | 0 | 2        | 94.9%  | 89.7% |     |                   |

- 注 ① この状況報告は、毎年度3月修了者を対象としている。  
 ② 修了者数は、現職教員を除き、留学生を含む。  
 ③ ( )内の数は、期限付教員を内数で示す。教員以外の就職者には臨時採用者を含む。  
 ④ 幼稚園は、幼保連携型認定こども園での採用者(保育教諭)を含む。  
 ⑤ 進学者は、自らの意思で進学を選択した者であり、就職したものとみなす。  
 ⑥ 文部科学省が就職状況として公表している教員就職率は①である。

### ■主な就職先

|  |
|--|
| <b>教員(小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校, 幼稚園)(臨時教員を含む)</b><br>徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県, 埼玉県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 大阪市,<br>兵庫県, 島根県, 福岡県, 大分県, 沖縄県ほか |
| <b>教員以外(臨時職員を含む)</b><br>地方公務員, スクールカウンセラー, 心理職, 一般企業ほか   |

## 鳴門教育大学の就職支援室

全国トップクラスの教員就職率の理由はこちらにある

理由1

教職経験豊富な元公立学校長のアドバイザーによる徹底した指導



教員就職支援  
チーフアドバイザー  
**湯藤 義文**  
YUDO Yoshifumi

学生一人ひとりに応じた  
指導の充実を心がけています。

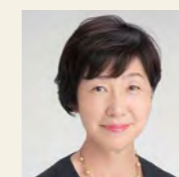
一人で力を積み重ねることも大切ですが、  
ぜひ私たちアドバイザーをフルに活用してください。



就職支援アドバイザー  
**福良 正典**  
FUKURA Masanori



就職支援アドバイザー  
**伊藤 千代**  
ITO Chiyo



就職支援アドバイザー  
**濱田 雅子**  
HAMADA Masako



実技教育アドバイザー  
**西川 初美**  
NISHIKAWA Hatsumi



[2024(令和6)年4月1日現在]

理由2

充実した就職支援行事(ガイダンス)の実施



一次対策に大いに役立つ!!  
・教採対策ガイダンス  
(基礎編・論文編・実践編)

教採は団体戦!!  
・模擬集団討論  
・模擬授業・面接

学校現場を知ることができる  
ボランティアも紹介しています。



理由3

就職に関する豊富な資料, 情報誌を常備

- ☆就職関連書籍の貸出
- ☆実技ガイダンス等(録画)の視聴
- ☆教員採用試験資料の閲覧
- ☆企業等の求人票, 公務員の募集要項の閲覧 など

## 就職支援行事

[2023(令和5)年度の例]

| 大学院1年次(長期2年次)  |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   | 大学院2年次(長期3年次)   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |  |  |
|--|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|--|--|
| 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5   | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |  |  |
| 企業ガイダンス<br>教採対策ガイダンス(準備編)<br>就職研修会<br>公務員ガイダンス<br>企業ガイダンス<br>教員採用試験説明会<br>教採対策ガイダンス(基礎編)<br>就職ガイダンス<br>教採対策ガイダンス(実践編)<br>特別ガイダンス(集団討論・集団面接)<br>模擬授業・個人面接①<br>教採模試① |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   | 公務員ガイダンス<br>教採対策ガイダンス(直前編)<br>特別ガイダンス(個人面接・模擬授業他)<br>教採模試③<br>教採実技ガイダンス(音楽・美術・体育)<br>模擬授業・個人面接②<br>二次対策ガイダンス(公務員・企業を含む) |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |  |  |
| 年間延べ利用者 12,192人 (過去5年間平均) (うち大学院生3,962人)   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |  |  |
| 教採出願   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   | 教採一次試験  |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |  |  |
| 教採二次試験   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   | 教採合格発表  |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |  |  |

※長期は資格取得プログラム及び学校教育研究科プログラム受講者を指す



## ちょっと知りたいQ&A 履修・取得資格編

### Q 大学院では修了までに何単位必要ですか？

A 本学大学院は、修士課程と専門職学位課程(教職大学院)があり、課程ごとに修了要件が異なります。具体は、以下の表を参照してください。

#### 《修士課程》

| 区分     | 心理臨床コース |           | グローバル教育コース |
|--------|---------|-----------|------------|
|        | 臨床心理学領域 | 心理・教育科学領域 |            |
| 専門科目   | 18単位    | 20単位      | 12単位       |
| 自由選択科目 | 6単位     | 4単位       | 12単位       |
| 課題研究   | 6単位     | 6単位       | 6単位        |
| 合計     | 30単位    | 30単位      | 30単位       |

自由選択科目は、いずれかのコースの専門科目(自己の所属するコースを含む。)のうちから選択となります。

#### 《専門職学位課程》

| 区分   | 高度学校教育実践専攻 |
|------|------------|
| 共通科目 | 18単位       |
| 専門科目 | 18単位       |
| 実習科目 | 10単位       |
| 合計   | 46単位       |

なお、専門職学位課程(教職大学院)に、教育職員免許法に定める1種免許状の所要資格を有せず入学した場合は、修了までに本学学部で開設される授業科目を履修し、1種免許状の所要資格を得る必要があります。

ただし、幼児教育コースの入学者のうち、幼稚園、認定こども園(地方裁量型認定こども園を除く)又は保育所(認可外を除く)に勤務し、かつ幼稚園教諭2種免許状を有する保育士、現職教員においては、この限りではありません。

### Q 1つの専攻・コースに籍を置きながら他の専攻・コースの教員の指導を受けることはできますか？

A 指導教員は所属する専攻・コースを担当する教員の中から選ばれますが、研究内容によっては、他の専攻・コースを担当する教員の指導を受けることができます。教員の研究室を訪問したり教員のウェブページを見たりして情報を集めておくことをおすすめします。

## ちょっと知りたいQ&A 修学編

### Q 過去の学位論文のテーマを知りたいのですが？

A 本学附属図書館ウェブページの「学位論文要旨データベース」で検索することができます。

<https://naruto.repo.nii.ac.jp/>



### Q 1種免許状を持っています。修了すると専修免許状に上進できますか？

A 本学大学院で開設されている授業を履修し、所定の単位を修得することで専修免許状への上進が可能です。上進が可能な免許状の種類は、所属する専攻・コースごとに異なりますので、詳しくは7ページをご覧ください。

### Q 現職の教員ですが2種免許状しか持っていません。上進はできますか？

A 学校教育学部で開設されている授業を履修し、所定の単位を修得することで1種免許状への上進が可能です。また、所属する専攻・コースによっては専修免許状への上進も可能です。履修にあたっては、あらかじめ教育委員会に必要な単位数ならびに授業科目をお問い合わせ願います。なお、学部授業の履修単位数には上限がありますので注意してください。詳しくは教務課にお問い合わせください。

### Q 公認心理師や臨床心理士の資格を取ることはできますか？

A できます。本学は(財)日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院であり、また、公認心理師法に定める授業科目を開設しております。それぞれの受験資格取得条件は以下のとおりです。

#### 《臨床心理士》

第1種指定大学院である本学の心理臨床コース臨床心理学領域に入学し、必要単位を修得した上で修了。  
※大学院修了後に試験が実施されます。

#### 《公認心理師》

出身大学で公認心理師法に定める所定の科目の単位を修得した上で、本学心理臨床コース臨床心理学領域に入学し、所定の単位を修得。  
詳しくは、本学心理臨床コース臨床心理学領域までお問い合わせください。

### Q 大学院1年あるいは学部4年で教員採用試験に合格した場合、大学院修了後までの教員採用にかかる特別な措置はあるのでしょうか？

A 本学の在籍者や大学院進学予定者が教員採用試験に合格した場合、教員採用の時期を大学院修了まで延長したり、試験の一部免除や特別選考が可能になったりする場合があります。ただし、この「特例措置」には、各都道府県等により条件や取扱いが異なりますので、受験予定の都道府県等教育委員会の情報を事前に確認してください。

## ちょっと知りたいQ&A 学生生活編

### Q 大学の近くにお店や病院はありますか？

A 本学から自動車等で5~10分のところに大型ショッピングセンターがあり、日常の品物はここで揃えることができます。周辺にはファミリーレストランや鳴門の海の幸を揃えた店もたくさんあります。また、大学のある高島の中にもコンビニや内科、歯科医院があります。

### Q 家族・友人で楽しめるスポットが近くにありますか？

A 本学は瀬戸内海国立公園に隣接しており、周辺には鳴門の渦潮で有名な鳴門海峡、大塚国際美術館、四国遍路(へんろ)の第一番札所霊山寺(りょうぜんじ)等、有名な観光スポットが数多くあります。また、本学から徒歩約10分のところに、デイキャンプ場やテニスコートなどスポーツ施設が充実した「鳴門ウチノ海総合公園」があります。おだやかなウチノ海を間近に望むことのできる景観ゆたかな施設です。

### Q 珍しい渡船があると聞いたのですが？

A 鳴門市には渡船(無料)が3航路あり、そのうちのひとつである「黒崎渡船」の高島乗船場が本学から徒歩約10分のところにあります。自転車やバイクも乗船でき、地元の人の「阿波弁」を聞いたり、美しい小鳴門海峡の海の様子を眺めながら、ハイキング気分での鳴門市の中心部まで、お買い物に出かけることができます。

## ちょっと知りたいQ&A 学生宿舎編

### Q 学生宿舎への入居は、どのようにして決まりますか？

A 入学手続き類に同封する学生宿舎案内の中の「学生宿舎入居願」を提出してください。鳴門教育大学学生宿舎入居者選考基準に基づき、決定します。

### Q 学生宿舎への車両の乗り入れはできますか？

A 車両の乗り入れを希望される場合は、入居後に申請により可能です。

### Q 単身用宿舎の共益費はいくらでしょうか？

A 一ヵ月4,500円です。(令和5年度実績)

### Q 家族で世帯用宿舎に入居できますか？

A 入居できます。世帯用学生宿舎には、3DKで52㎡の部屋が40戸、40㎡の部屋が40戸あります。また、次のような設備・備品が用意されています。机・椅子・本棚・流し台(ガスコンロなし)・ガス湯沸器・洗面台・靴箱・テレビ配線など。※光回線・IP電話は、別途契約することで利用可能(単身棟も同様)です。

### Q 京阪神方面へのアクセスは便利ですか？

A 本学から自動車等で10分のところに、高速バスのバス停「高速鳴門」があります。大型ショッピングセンター隣の「鳴門市観光情報センター」脇から、モノレール「すろっぴー」に乗ると、約2分で「高速鳴門」バス停に着きます。「高速鳴門」バス停から、神戸、大阪、京都市行き的高速バスに乗ると、神戸三宮には1時間30分ほどで着くことができます。約30分おきに高速バスが神戸、大阪、関西国際空港、京都等へ向けて運行しており、1日の発着便数は約230便です。休みを利用してショッピング、観光等に出かける学生も多いようです。

### Q 大学の図書館は、家族でも利用できますか？

A 本学附属図書館は、学生・教職員をはじめ、一般の方も利用することができます。開館時間は、月~金曜日(祝日を除く。)は8:45~21:00で、土・日・祝日は、10:00~17:00となっています。(大学の休業期間を除く。)また、大学図書館では珍しい「児童図書室」があり、学生ボランティアによる子育て支援活動が行われています。開室時間は、水・土・日曜日及び祝日の13:00~16:00となっています。(大学の休業期間を除く。)



### Q 単身用宿舎の学生は、食事はどうしていますか？

A 単身用宿舎には補食室があり、自炊することも可能です。また、大学会館にある鳴教食堂「渦の里」(昼食)又は売店を利用してください。※「渦の里」については、ウェブページをご覧ください。  
<https://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/02/005001.html>



### Q 小学生の子どもがいますが、近くに小学校はありますか？

A 学生宿舎から約1km(徒歩20分程度)の場所に、認定こども園、小学校、中学校があります。様々な地域からやってきた家族同士、子ども同士の交流の輪は大学院修了後も広がっています。



ちょっと知りたいQ&A 出願・入学試験編

Q 過去問を見ることはできますか？

A できます。ただし、入学者選抜試験では、教育関係分野からの出題があるコース・分野等もあります。過去の入学者選抜試験問題を参考にしてください。過去の入学者選抜試験問題は、ウェブページで公開していますので、次のアドレスをご覧ください。

<https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/01/012.html>

また、著作権の関係によりウェブページで閲覧できない試験問題については、本学入試課で閲覧可能です。



Q 現職教員ですが、大学院を受験するにはどのようにすればよいのですか。また、入学後の身分はどうなりますか？

A 公立学校の現職教員の場合、教育委員会の受験同意書を添えて出願していただきますので、出願する前に、あらかじめ所属教育委員会へ相談してください。

また、入学後の身分については、都道府県又は市町村教育委員会(又はこの委任を受けた校長)の出張命令により職務としての研修として取り扱われるので、身分は現職教員であるとともに、本学の学生として取り扱われます。

Q 大学での専攻は、教育学部ではありませんでした。いまから、教員免許を取得できますか？

A できます。本学の専門職学位課程(教職大学院)には、長期履修学生制度を活用して大学院に3年間在学し、教員免許状と教職修士の学位を取得できる「学校教員養成プログラム」があります。このプログラムの受講を希望する方は、大学院の出願手続きの際に、出願書類と併せて「学校教員養成プログラム受講申請書」を提出してください。

また、修士課程においても、修士の学位を取得することに加えて、教員免許状等の各種資格を取得できる「資格取得プログラム」があります。このプログラムの受講を希望する方は、大学院の出願手続きの際に、出願書類と併せて「資格取得プログラム受講申請書」を提出してください。ただし、心理臨床コース臨床心理学領域では、資格取得プログラムを受講することはできません。なお、各プログラムの詳細は、募集要項を確認してください。

Q 大学院修学休業制度を利用して大学院に入学したいのですが。

A 実際にこの制度を利用して入学された方が何人かおられます。休業期間中の給与は支給されませんが、教員としての身分は保障されたままで、進学することができます。任命権者等の同意書が必要ですので、教育委員会にご相談ください。本学ではこの制度により進学された現職教員を対象として、授業料を全額免除する支援策を導入しています。大学院修学休業制度および本学の授業料免除制度についてはウェブページをご覧ください。

<https://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html>



Q 短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の修了者は大学院の出願資格はあるのでしょうか？

A 大学院への出願要件は、大学卒業(見込みを含む)のほかに、2025年3月31日までに22歳に達する方で、「個別の入学資格審査」を受け、審査で認定されると出願が認められます。

この審査は、出願に先立って実施しますので、詳しくは募集要項またはウェブページをご覧ください。

<https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/01/006.html>



なお、短期大学の専攻科及び高等専門学校の専攻科で卒業(修了)時に学士の学位を得られる方は、「個別の入学資格審査」を受けることなく出願することができます。

また、文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した方(修了予定の方を含む。)も、「個別の入学資格審査」を受けることなく出願することができます。

※文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程については、文部科学省ウェブページで確認願います。

Q 現職教員ですが、教師としての仕事を続けながら大学院で学ぶことはできますか？

A できます。本学では、現職教員が働きながら教職大学院で学ぶためのプログラムとして、「教職大学院遠隔教育プログラム」を設置しています。

教職大学院遠隔教育プログラムでは、現職教員が勤務地を離れることなく働きながら学修できるよう、夜間や休日、夏期休業中等に授業を開講し、インターネットを活用した遠隔教育システムとスクーリング(学校の長期休業中などに行う対面の集中講義)により実施しています。

また、標準修業年限は2年ですが、働きながら学ぶ教員に配慮し、長期履修学生制度(修業年限3～5年)を適用することで心理的・時間的に余裕をもって学ぶことを可能としています。

詳しくは、6ページ、13ページをご覧ください。

<https://www.naruto-u.ac.jp/pro-enkaku/>



Q 大学院説明会について教えてください。

A 本学では、大学院入学希望の方を対象に、年間を通して、教員・院生との懇談会を中心としたアットホームな雰囲気の大学院説明会を学内およびオンライン形式で開催する予定です。日時及び開催場所については、決まり次第ウェブページでお知らせしますので、ご覧ください。

<https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/01/010.html>



Q 検定料の免除制度はありますか？

A 本学では、激甚災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、被災した方を対象に、大学院学校教育研究科入学者選抜試験に係る検定料の免除を実施しています。

※詳細については、ウェブページをご覧ください。

<https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/01/014.html>



あなたと同じ夢を追いかける仲間が、全国から。

出身都道府県別入学者数  
(過去5年間、留学生は除く)

中国・四国地方

鳥取県 5 徳島県 348  
島根県 11 香川県 43  
岡山県 30 愛媛県 50  
広島県 44 高知県 42  
山口県 13

九州・沖縄地方

福岡県 21  
佐賀県 8  
長崎県 6  
熊本県 5  
大分県 9  
宮崎県 16  
鹿児島県 9  
沖縄県 28

近畿地方

大阪府 74  
兵庫県 92  
京都府 38  
滋賀県 11  
奈良県 9  
和歌山県 17

信越・北陸地方

新潟県 6  
長野県 12  
富山県 2  
石川県 4  
福井県 2

北海道・東北地方

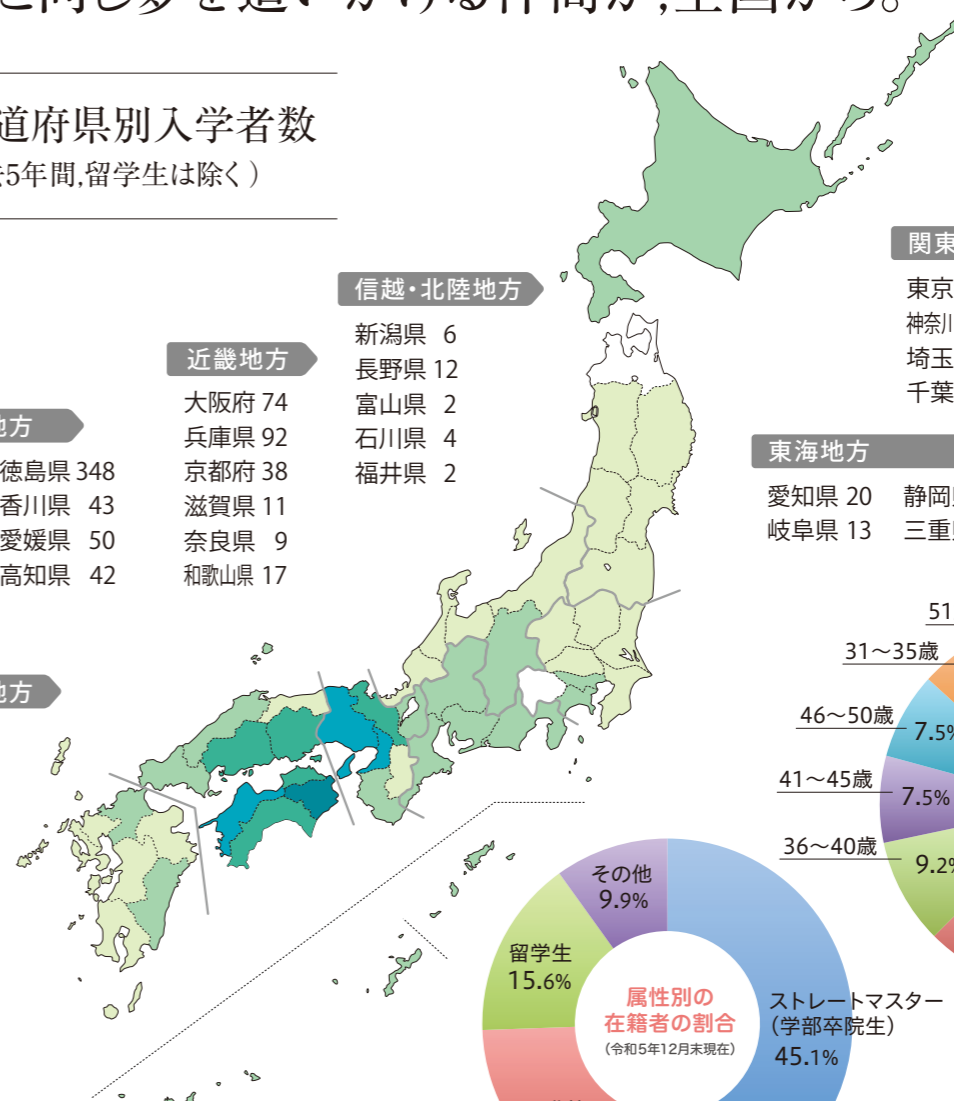
北海道 12 秋田県 3  
青森県 0 山形県 1  
岩手県 2 福島県 7  
宮城県 2

関東地方

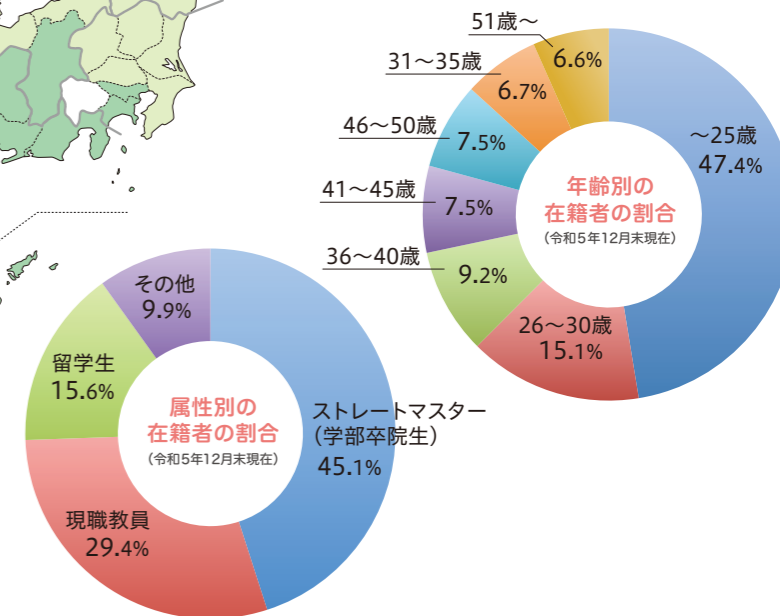
東京都 22 茨城県 4  
神奈川県 23 栃木県 4  
埼玉県 9 群馬県 3  
千葉県 6 山梨県 0

東海地方

愛知県 20 静岡県 26  
岐阜県 13 三重県 13

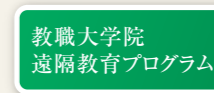


入学者数 色区分表



INFORMATION

「もっと知りたい」鳴教大のいろんなこと。



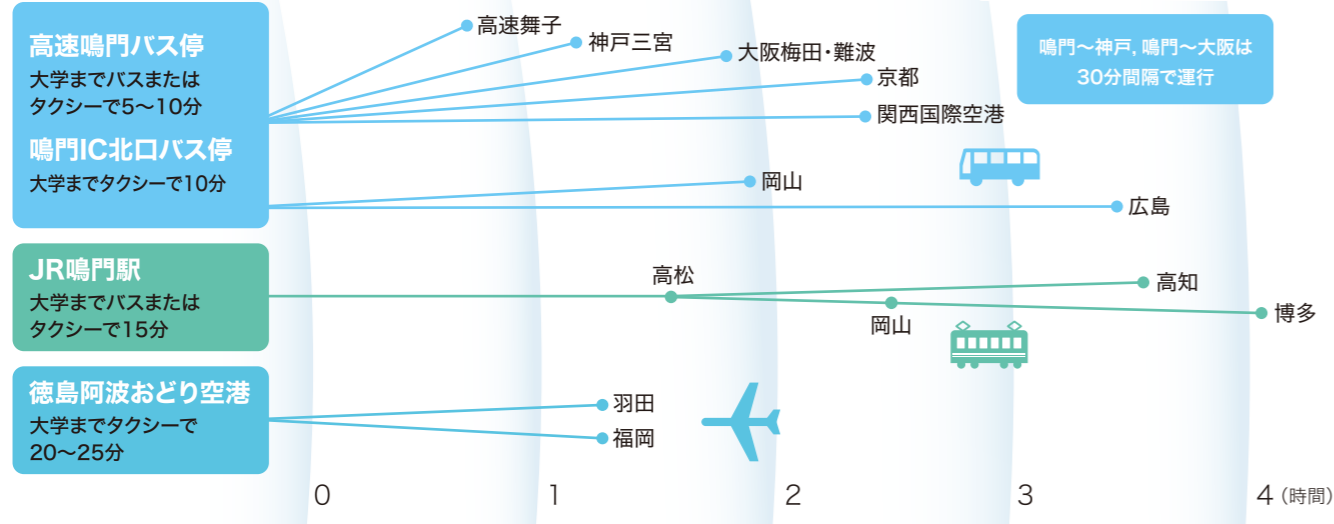


## 交通アクセス

本学の最寄りの交通機関まで

東京(羽田)から1時間!  
神戸から1時間半!

関西・中国・四国の各県から非常に近く便利な環境です。



大学の周辺  
文化や自然を  
感じることができる  
絶好の環境です。

### 01 鳴門海峡

瀬戸内海と太平洋をつなぐ鳴門海峡は潮流の速さでは世界有数。大鳴門橋の橋梁下部には、巨大な渦潮を間近に見ることのできる「渦の道」が設置されています。



### 02 大塚国際美術館

日本最大級の常設展示スペースのある「陶板名画美術館」。西洋の名画1,000余点を特殊技術により陶板で原寸大に再現、展示しています。



### 03 鳴門ウチノ海総合公園

ここは学生宿舎「うず潮村」のそばにあり、テニス、フットサルなどが楽しめる多目的コートやデイキャンプ場が整備されています。



### 04 鳴門市ドイツ館

第一次大戦後、板東俘虜収容所のドイツ人俘虜によってわが国で初めて「第九」が演奏されました。日独交流の象徴として平成5年、新記念館が建設されました。



### 05 四国八十八ヶ所霊場 第一番札所霊山寺

88カ所の札所霊場を巡礼する四国遍路。約1,460kmにおよぶ遍路道を、多くの歩き遍路やバス遍路の人々が、ここから想いを新たに出発していきます。



### 06 大谷焼の里

大谷焼は、江戸時代後期に始まり、大谷陶器とそれを焼く登り窯はとて有名です。素朴で暖かみある作品は徳島県民に愛され続けています。



### 07 鳴門市阿波踊り

鳴門市の阿波おどりは、県下のトップを切って3日間華やかに行われます。毎日約30連が大乱舞。「よしこの」のリズムが街中を流れます。

